

注3

**大学番号：私370**

[平成20年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

**届出**

日本福祉大学 国際福祉開発学部 国際福祉開発学科

注2

## 【届出】留意事項実施状況報告書

学校法人 日本福祉大学  
平成24年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

1 調査対象大学等の概要等	.....	1 頁
2 授業科目の概要	.....	5 頁
3 施設・設備の整備状況, 経費	.....	16 頁
4 既設大学等の状況	.....	18 頁
5 教員組織の状況	.....	19 頁
6 留意事項に対する履行状況等	.....	31 頁
7 その他全般的事項	.....	33 頁

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 日本福祉大学

## (2) 大学名

日本福祉大学

## (3) 大学の位置

〒470-3295  
愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(オオサワ マサル) 大沢 勝 (昭和61年12月13日)	(ワタナベ テルオ) 渡辺 照男 (平成21年4月1日)	総長制度の廃止に伴う寄附行為変更が認可され、これに伴い平成21年3月31日をもって理事(総長)を退任したため変更(21)
学長	(ミヤタ カズアキ) 宮田 和明 (平成15年4月1日)	(カトウ サチオ) 加藤 幸雄 (平成21年4月1日)	任期満了に伴う変更(21)
学部長	(サイトウ チヒロ) 斎藤 千宏 (平成20年4月1日)	(カゲト マコト) 影戸 誠 (平成23年4月1日)	任期満了に伴う変更(23)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部 of 学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際福祉開発学部 国際福祉開発学科 学士(国際福祉開発学)	4年	80人	-	320人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 (-) [-]		80 (-) [-]		80 (-) [-]		80 (-) [-]		80 (-) [-]		0.59倍	平成21年度編入生1名は他学部からの転部生
志願者数	148 (-) [1]	0 (-) [-]	139 (3) [1]	0 (-) [-]	104 (-) [-]	0 (-) [-]	302 (-) [-]	0 (-) [-]	310 (1) [3]	0 (-) [-]		
受験者数	146 (-) [1]	0 (-) [-]	136 (3) [1]	0 (-) [-]	103 (1) [-]	0 (-) [-]	300 (-) [-]	0 (-) [-]	308 (1) [3]	0 (-) [-]		
合格者数	142 (-) [1]	0 (-) [-]	132 (3) [1]	0 (-) [-]	92 (1) [-]	0 (-) [-]	237 (-) [-]	0 (-) [-]	253 (1) [2]	0 (-) [-]		
B 入学者数	54 (-) [1]	0 (-) [-]	44 (1) [1]	0 (-) [-]	42 (-) [-]	0 (-) [-]	51 (-) [-]	0 (-) [-]	49 (1) [2]	0 (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.67		0.55		0.52		0.63		0.61			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, ( ) 書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] 54	[ - ] 0	[ 1 ] 44	[ - ] 0	[ - ] 43	[ - ] 0	[ - ] 52	[ - ] 0	[ 2 ] 49	[ - ] 0	[ - ] 0	[ - ] 0	
2年次	/		[ 1 ] 54	[ - ] 0	[ 1 ] 45	[ - ] 0	[ - ] 49	[ - ] 0	[ - ] 53	[ - ] 0	[ - ] 0	[ - ] 0	
3年次			/		/		[ 1 ] 49	[ - ] 0	[ 1 ] 43	[ - ] 0	[ - ] 47	[ - ] 0	[ - ] 0
4年次	/						/		/		[ 1 ] 43	[ - ] 0	[ 1 ] 40
計			[ 1 ] 54	[ - ] 0	[ 2 ] 98	[ - ] 0					[ 2 ] 137	[ - ] 0	[ 2 ] 187

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成20年度 入学者	54人	4人	平成20年度	1人	0人	除籍(学費未納除籍)(1名)	7.4%
			平成21年度	1人	0人	経済的理由(1名)	
			平成22年度	0人	0人		
			平成23年度	2人	0人	学費未納除籍(1名)、学業不振(1名)	
			平成24年度	0人	0人		
平成21年度 入学者	44人	5人	平成21年度	2人	0人	他の教育機関への入学・転学(2名)	11.4%
			平成22年度	0人	0人		
			平成23年度	3人	0人	学費未納除籍(1名)、就職(1名) 他の教育機関への入学・転学(1名)	
			平成24年度	0人	0人		
平成22年度 入学者	43人	5人	平成22年度	1人	0人	通信教育部への転籍(1名)	11.6%
			平成23年度	4人	0人	他の教育機関への入学・転学(1名) 通信教育部への転籍(2名)、就職(1名)	
			平成24年度	0人	0人		
平成23年度 入学者	52人	1人	平成23年度	1人	0人	経済的理由(1名)	1.9%
			平成24年度	0人	0人		
平成24年度 入学者	49人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
合計	242人	15人					6.2%

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                  ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<国際福祉開発学部 国際福祉開発学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎科目	心理学	1前 4後		2								担当教員都合のため開講期変更(24)
	社会学	1後 4前 4後		2								担当教員都合のため開講期変更(23) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	法学	1前 4後 4前		2								担当教員都合のため開講期変更(23) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	法と社会(日本国憲法)	1後 4前		4								担当教員都合のため開講期変更(24)
	健康・スポーツ 健康・スポーツ演習	1通		2 4								教育課程整備に伴う科目名称・単位数変更(24)
	英語総合基礎Ⅰ	1前		2			1					
	英語総合基礎Ⅱ	1後		2			1					
	情報処理演習	1通		4			1					
	国際フィールドワークⅠ	1集		4		7 6 5 4 3	4 2 1					科目充実のため科目担当教員追加(20) 担当:張淑梅(教授)、佐藤慎一(准教授) 科目充実のため科目担当教員追加(21) 担当:岡本真理子(教授)、小國和子(准教授)、野崎泰志(准教授) 科目充実のため科目担当教員追加(22) 担当:中西哲彦(准教授)、野崎准教授の教授昇格(22) 科目充実のため科目担当教員追加(24) 担当:小倉美津夫(教授)
	環境と開発	1前		4		1						
	くらしと経済	1後		4		1	+					岡本准教授の教授昇格(20)
	アクティブリーディングⅠ	1前		2			1					
	アクティブリーディングⅡ	1後		2			+					兼任教員を配置(24)
	English for ICTⅠ	1前		2								
	English for ICTⅡ	1後		2								
	異文化理解	1前		2			1					
	英語プレゼンテーションⅠ	1前	2				1					
	英語プレゼンテーションⅡ	1後	2				+					兼任教員を配置(24)
	英語基礎Ⅰ	1前		2			1					
	英語基礎Ⅱ	1後		2			1					
	キャリアアップ英語Ⅰ	1前		2				+				
	こころとからだ	1前 4後		2								担当教員都合のため開講期変更(23)
	福祉社会入門	1前		2								
	日本福祉大学の歴史	1後		2								カリキュラム充実のための科目追加(24)
	障害者支援演習	1前		2								カリキュラム充実のための科目追加(24)
	知多学	1前		2			1					カリキュラム充実のための科目追加(24)
	知多学フィールドスタディ	1後		2								カリキュラム充実のための科目追加(24)
	障害者コミュニケーション演習(手話)	1前・後		2								カリキュラム充実のための科目追加(24)
	基礎演習	1通	4			2 +	1 2 3					開講クラス数変更に伴う担当教員減(21) 野崎准教授の教授昇格(22)
	文章作成力演習	2後		2								カリキュラム充実のための科目追加(23)
	国内留学フィールド・スタディⅠ	2前		1								カリキュラム充実のための科目追加(23)
	国内留学フィールド・スタディⅡ	2前		1								カリキュラム充実のための科目追加(23)
国内留学フィールド・スタディⅢ	2前		1								カリキュラム充実のための科目追加(23)	
キャリアアップ英語Ⅱ	2後		2			1	+				科目充実のため担当教員変更(21)	
キャリアアップ英語Ⅲ	3後		2			1	+				科目充実のため担当教員変更(22)	
ジェンダー論	3集 未開講	2									担当教員都合のため開講期変更(22) 履修者数確保のため隔年開講に変更(22)	
芸術文化	3後		2									
ことばと文化Ⅰ(マレーシア)	廃止 未開講	2									履修希望者がいないため休講(22) 教育課程整備に伴う科目廃止(24)	
言語と文化Ⅰ(中国)	3前		1								履修順序の適切化により開講期変更(22)	
ことばと文化Ⅰ(中国)	3後		2								教育課程整備に伴う科目名称・単位数変更(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎科目	言語と文化Ⅰ(韓国) <del>ことばと文化Ⅰ(韓国)</del>	3前 3後		1 2								教育課程整備に伴う科目名称・単位数変更(24)
	言語と文化Ⅰ(ポルトガル) <del>ことばと文化Ⅰ(ポルトガル)</del>	3前 3後		1 2								カリキュラム充実のための科目追加(22) 教育課程整備に伴う科目名称・単位数変更(24)
	<del>ことばと文化Ⅱ(マレーシア)</del>	廃止 未開講 3前		2								履修希望者がいないため休講(22) 教育課程整備に伴う科目廃止(24)
	言語と文化Ⅱ(中国) <del>ことばと文化Ⅱ(中国)</del>	3後 3前		1 2								履修順序の適切化により開講期変更(22) 教育課程整備に伴う科目名称・単位数変更(24)
	言語と文化Ⅱ(韓国) <del>ことばと文化Ⅱ(韓国)</del>	3後		1 2								教育課程整備に伴う科目名称・単位数変更(24)
	言語と文化Ⅱ(ポルトガル) <del>ことばと文化Ⅱ(ポルトガル)</del>	3後		1 2								カリキュラム充実のための科目追加(22) 教育課程整備に伴う科目名称・単位数変更(24)
	小計(43科目) <del>小計(40科目)</del> 小計(36科目) <del>小計(34科目)</del>	-	8	81 <del>83</del> 78 74	0	7 6 5	4 5	0	0	0		
専門基礎科目	国際交流ファシリテーション演習Ⅰ	1通		4		4	2 4					科目充実のため担当教員を変更(20)
	宗教と共同体	未開講 2集 未開講 2集		2								履修者数確保のため隔年開講に変更(22) 通常開講(23)
	中国の経済社会	2前		2		1						
	インドの経済社会	未開講 2集 未開講 2集		2								履修者数確保のため隔年開講に変更(22) 通常開講(23)
	EUの経済社会	2前		2								
	国際フィールドワークⅡ	2集		4			7 6 5 4 3	4 2 4				科目充実のため科目担当教員追加(20) 担当:張淑梅(教授)、佐藤慎一(准教授) 科目充実のため科目担当教員追加(21) 担当:岡本真理子(教授)、小國和子(准教授)、 野崎泰志(准教授) 科目充実のため科目担当教員追加(22) 担当:中西哲彦(准教授)、野崎准教授の教授昇格(22) 科目充実のため科目担当教員追加(24) 担当:小倉美津夫(教授)
	アクティブラーニングⅢ	2前		2			1					
	アクティブラーニングⅣ	2後		2			1					
	ニュース英語	2前 2後		2			1 4					記載誤り:担当教員都合により平成21年度のみ専任教員が担当(21) 科目内容充実のため専任教員を配置(21) 平成22年度予定通り兼任教員が担当(22) 担当教員都合のため開講期変更(22) 専任教員を配置(24) 担当:中西哲彦(准教授)
	英語プレゼンテーションⅢ	2通		4		4						兼任教員を配置(24)
	国際交流ファシリテーション演習Ⅱ	2通		4			1 2 4	1				科目内容充実のため専任教員追加(21) 担当:影戸誠(教授) 専任教員を変更(24) 変更前:小倉美津夫(教授) 一変更後:中西哲彦(准教授)
	経営学	3後 3前		4		1						担当教員都合のため開講期変更(22)
	社会調査 くらしと統計	2後 2前 3		2		1	4					社会福祉士新法対応に伴う科目、教員数変更(21) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	ビジネスリテラシー	3通 3後		4		2 4	4					岡本准教授の教授昇格(20) 科目内容充実のため専任教員追加(22) 担当:張淑梅(教授) 担当教員都合のため開講期変更(22)
小計(14科目)	-	0	40	0	7 5	4 5	0	0	0			



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	実践英語コミュニケーションⅠ	1集		2			+					兼任教員を配置(24)
	現代福祉	1前		2			1					科目内容充実のためオムニバス方式に変更するとともに専任教員を配置(22) 担当:吉村輝彦(准教授)
	国際協力	1後		2			1					
	メディアデザイン	2後 2前		2			1					担当教員都合のため開講期変更(23)
	英語学概論	2前		2			1					
	英語学演習	2後		2			1					
	英語音声学	2前 2後 2前		2			+					担当教員都合のため開講期変更(22) 兼任教員を配置(24) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	英語コミュニケーションⅠ	2前		2			1					
	英語コミュニケーションⅡ	2後		2			1					
	実践英語コミュニケーションⅡ	2集		2								
	福祉開発	2後		4			1	1				前科目担当者の退職に伴い専任教員を配置(24) 担当:千頭聡(教授)、吉村輝彦(准教授)
	福祉行財政と福祉計画	2後 2前		2								社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当:松久保博章(兼任) 担当教員都合のため開講期変更(23)
	権利擁護と成年後見	2前 2後		2								社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当:鷲野林平(兼任) 担当教員都合のため開講期変更(22)
	更生保護	2後 2前 2後		1								社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当:木村隆夫(兼任) 担当教員都合のため開講期変更(22) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	総合演習	2通	4			6 5 4	3 2 +					岡本准教授の教授昇格(20) 科目充実のため担当教員追加(21) 担当:吉村輝彦(准教授) 科目充実のため担当教員追加(23) 担当:斎藤千宏(教授)、佐藤慎一(准教授)
	英語科教育法Ⅰ	2前		2			1					
	英語科教育法Ⅱ	2後		2			1					
	障害者福祉論	2前		4			1	+				野崎准教授の教授昇格(22)
	社会保障論	2前 2後		4								担当教員都合のため開講期変更(24)
	高齢者に対する支援と介護保険制度 高齢者福祉論	2前 2後		4								社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当:吉田直美(兼任・准教授) 担当教員都合のため開講期変更(22)
	児童福祉論	2後 2前 2通		2 4								社会福祉士新法対応に伴う単位変更(21) 担当教員都合のため開講期変更(22)
	医学概論	2後 2前		4								担当教員都合のため開講期変更(23) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	介護福祉論	2		2								社会福祉士新法対応に伴う科目廃止(21)
	社会福祉援助技術論Ⅰ 社会福祉方法原論	2後 2前		4								社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当:吉田直美(兼任・准教授) 担当教員都合のため開講期変更(22)
	国際保健	2後		2								
	インターンシップⅠ	3集		2			3 +	1 2				記載漏れ:野崎准教授の教授昇格(22) 科目内容充実のため専任教員追加(22) 担当:小倉美津夫(教授)
	インターンシップⅡ	3集		2			3 +					科目内容充実のため専任教員追加(22) 担当:小倉美津夫(教授)、張淑梅(教授)
	国際協働インターンシップⅠ	3集		2			1					カリキュラム充実のための科目追加(24) 担当:小倉美津夫(教授)
	国際協働インターンシップⅡ	3集		2			1					カリキュラム充実のための科目追加(24) 担当:小倉美津夫(教授)
	国際フィールドワークⅢ	3集		8			1					カリキュラム充実のため科目追加(21) 担当:斎藤千宏(教授) 科目内容充実のため専任教員追加(23) 担当:影戸誠(教授)
国際フィールドワークⅣ	3集		8			1					カリキュラム充実のため科目追加(21) 担当:斎藤千宏(教授) 科目内容充実のため専任教員追加(23) 担当:影戸誠(教授)	
ネットワークデザイン	3前 3後 3前		2				1				担当教員都合のため開講期変更(22) 担当教員都合のため開講期変更(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	英語デジタルコンテンツ	3前 3後		2								担当教員都合により担当教員変更(22) 担当:影戸誠(教授) 担当教員都合のため開講期変更(22) 当初設置計画の担当教員を配置(23) 担当:丹波信夫(兼任)	
	英米文学史	3後		2								社会福祉士新法対応にともなう科目追加(21) 担当予定:佐藤皓一(兼任・教授) 科目担当教員の退職に伴う兼任教員配置(24)	
	英米文学講義 I	3前		2									
	英米文学講義 II	3後		2								社会福祉士新法対応にともなう科目追加(21) 担当予定:佐藤皓一(兼任・教授) 科目担当教員の退職に伴う兼任教員配置(24)	
	福祉経営論 I	3前		2									担当教員都合により担当教員変更(22) 担当:齋藤千宏(教授) 前科目担当者の学外研究年に伴い 兼任教員を配置(24) 担当教員都合のため開講期変更(24) 兼任教員を配置(24)
	福祉経営論 II	3後		2									
	比較文化論	3後 3前		2		+							
	英語コミュニケーション III	3前		2				+					
	英語コミュニケーション IV	3後		2				1					
	アクティブラーニング V	3前		2									
	英語プレゼンテーション IV	3通		4									
	国際交流ファシリテーション演習 III	3前		2				1					科目内容充実のため専任教員追加(22) 担当:佐藤慎一(准教授)
	日本語教授法入門	3後		2									
	観光英語	3前 3後		2									担当教員都合のため開講期変更(22)
	英語科教育法 III	3前		2				1					
	英語科教育法 IV	3後		2				1					
	開発ソーシャルワーク演習	3前 3通		4				3 2 4	2 3 4				岡本准教授の教授昇格(20) 野崎准教授の教授昇格(22) 担当教員都合のため開講期変更(23)
	貧困と開発	3後		2		+		+					岡本准教授の教授昇格(20) 担当教員都合により担当教員変更(22) 担当:余語トヒロ(教授) 前科目担当者の退職に伴い 兼任教員を配置(24)
	地域福祉論	3後 3前		4			1	+					野崎准教授の教授昇格(22) 担当教員都合のため開講期変更(22)
	社会福祉学	2前		4									社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当:吉田直美(兼任・准教授)
	社会福祉原論	3		4									
	公的扶助論	3前		2									
	保健医療サービス	3後		2									社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当:牧野忠康(兼任・教授)
	就労支援サービス	3後		1									社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当:角谷勝己(兼任)
	社会福祉援助技術論 II	3前		4									社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当:吉田直美(兼任・准教授)
	社会福祉方法各論 I	3前		2									
	社会福祉援助技術論 III	3前		4									社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当:吉田直美(兼任・准教授)
	社会福祉方法各論 II	3後		2									担当教員都合のため開講期変更(23)
	NPO/NGO論	3後 3前		2									担当教員都合のため開講期変更(23)
	参加型のまちづくり	3前 3後		2					1				担当教員都合のため開講期変更(22)
	開発教育	3集 3後 3前		2			+						担当教員都合のため開講期変更(22) 前科目担当者の学外研究年に伴い 兼任教員を配置(24) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	教育協力	3集 未開講		2									担当教員都合のため開講期変更(22) 履修者数確保のため隔年開講に変更(22)
開発人類学	3後 3前		2					1				担当教員都合のため開講期変更(22)	
国際人権法	3後		4										
国際福祉開発	未開講 3前 3後		2					1				担当教員都合のため開講期変更(22) 科目担当者の学外研究年に伴い 休講(24)	
専門演習	3通		4				6 6 3	3 2 3				科目内容充実のため専任教員追加(22) 担当:齋藤千宏(教授) 野崎准教授の教授昇格(22) 科目内容充実のため専任教員追加(23) 担当:岡本真理子(教授) 科目内容充実のため専任教員追加(24) 担当:中西哲彦(准教授)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	卒業研究	4通		4		5 3	2 3				科目内容充実のため専任教員追加(22) 担当: 斎藤千宏(教授) 野崎准教授の教授昇格(22)
	小計(65科目) 小計(63科目) 小計(66科目)	-	4	168 164 136	0	7 9 7 6	4 5	0	0	0	以下の専任教員の定年退職(24) 余話トシヒロ(教授)
	外国人留学生・帰国生徒の特例科目	日本語と文化 I-1 日本語と文化 I-2 日本語と文化 II-1 日本語と文化 II-2 日本事情 I 日本事情 II 日本語と文化 III-1 日本語と文化 III-2 日本語と文化 IV-1 日本語と文化 IV-2 小計(10科目)	1前 1後 1前 1後 未開講 4前 未開講 4後 2前 2後 2前 2後 -	1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 0 12	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	該当学生が1名であり、他科目で対応したため(21) 該当学生が0名のため(22) 該当学生が0名のため(23) 該当学生が1名であり、他科目で対応したため(24) 該当学生が1名であり、他科目で対応したため(21) 該当学生が0名のため(22) 該当学生が0名のため(23) 該当学生が1名であり、他科目で対応したため(24)	
資格関係科目	法と社会(日本国憲法)	1後 4前			4						担当教員都合のため開講期変更(24)
	健康・スポーツ 健康・スポーツ演習	1通			2 4						教育課程整備に伴う科目名称・単位数変更(24)
	英語総合基礎 I	1前			2			1			
	情報処理演習	1通			4			1			
	教職入門	2前			2						記載漏れ 教職課程の設置にあたり、中教審より科目名称を変更するよう指示があったため(21) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	教育学概論 教育学Ⅰ	2前 2後			2						担当教員都合のため開講期変更(24)
	教育史	3後 3前			2						担当教員都合のため開講期変更(24)
	教育心理学概論 教育心理学	2前			2						教職課程の設置にあたり、中教審より科目名称を変更するよう指示があったため(21) 担当: 小平英志(兼任・准教授)
	発達心理学概論	2前			2						教職課程の設置にあたり、中教審より科目を追加するよう指示があったため※昨年度報告漏れ(21) 担当: 近藤直子(兼任・教授)
	教育制度論	2後 2前			2						教職課程の設置にあたり、中教審より科目を追加するよう指示があったため(21) 担当: 片山信吾(兼任) 担当教員都合による開講期変更(22)
	教育課程論 教育学Ⅱ	2前			2						教職課程の設置にあたり、中教審より科目名称を変更するよう指示があったため(21)
	道德教育の指導法 道德の指導法	2前			2						教職課程の設置にあたり、中教審より科目名称を変更するよう指示があったため(21)
	特別活動方法論(中等)	3前			2						
	教育方法論	2後 2前			2						担当教員都合による開講期変更(22)
	生徒の生活と進路の指導	3後			2						
	カウンセリング論	2後 2前			2						担当教員都合による開講期変更(24)
	英語科教育法 I	2前			2	1					
	英語科教育法 II	2後			2	1					
	英語科教育法 III	3前			2	1					
	英語科教育法 IV	3後			2	1					
教育相談の基礎と方法	2集 2後			2						教職課程の設置にあたり、中教審より科目を追加するよう指示があったため(21) 担当: 早川すみ江(准教授) 担当教員都合による開講期変更(24)	
総合演習	2通			4	6 5 4	3 2 4 2				岡本准教授の教授昇格(20) 科目充実のため担当教員追加(21) 担当: 吉村輝彦(准教授) 科目充実のため担当教員追加(23) 担当: 斎藤千宏(教授)、佐藤慎一(准教授)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職に関する科目	教育実習Ⅰ(中等)	3集			1	1						
	教育実習Ⅱ(中等)	3集			2	1						
	教育実習Ⅲ(中等)	4集			2	1						
	教職実践演習	4後			2	1						教員免許法改正に伴う科目設置(24)
	小計(26科目) 小計(25科目) 小計(22科目)	-	0	0	33 34 25 24 26	6 5 4	3 2	0	0	0		
※単位数に下線が付されている科目は総合基礎科目、専門基礎科目あるいは専門科目として卒業単位に参入される再掲科目であることを示す。												
資格関係科目	英語総合基礎Ⅱ	1後			2		1					科目充実のため科目担当教員追加(20) 担当:張淑梅(教授)、佐藤慎一(准教授)
	国際フィールドワークⅠ	1集			4	7 6 5 4 4	4 2 1					科目充実のため科目担当教員追加(21) 担当:岡本真理子(教授)、小國和子(准教授)、野崎泰志(准教授)
	異文化理解	1前			2		1					科目充実のため科目担当教員追加(22) 担当:中西哲彦(准教授)、野崎准教授の教授昇格(22)
	国際協力	1後			2		1					科目充実のため科目担当教員追加(20) 担当:張淑梅(教授)、佐藤慎一(准教授)
	国際フィールドワークⅡ	2集			4	7 6 5 4 4	4 2 1					科目充実のため科目担当教員追加(21) 担当:岡本真理子(教授)、小國和子(准教授)、野崎泰志(准教授)
	英語学概論	2前			2		1					科目充実のため科目担当教員追加(22) 担当:中西哲彦(准教授)、野崎准教授の教授昇格(22)
	英語学演習	2後			2		1					科目充実のため科目担当教員追加(24) 担当:小倉美津夫(教授)
	英語音声学	2前 2後			2		4					科目充実のため科目担当教員追加(22) 担当:小倉美津夫(教授)
	英語コミュニケーションⅠ	2前			2		1					担当教員都合のため開講期変更(22) 兼任教員を配置(24) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	英語コミュニケーションⅡ	2後			2		1					
	英米文学史	3後			2							
	英米文学講義Ⅰ	3前			2							
	英米文学講義Ⅱ	3後			2							
	比較文化論	3後 3前			2		4					担当教員都合により担当教員変更(22) 担当:齋藤千宏(教授) 前科目担当者の学外研究年に伴い 兼任教員を配置(24) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	英語コミュニケーションⅢ	3前			2			4				兼任教員を配置(24)
	英語コミュニケーションⅣ	3後			2			1				
	開発人類学	3後 3前			2			1				担当教員都合のため開講期変更(22)
	小計(17科目)	-	0	0	38	7 6	4 3	0	0	0		
社会福祉士国家試験受験資格に関する科目	心理学	1前 1後			2							担当教員都合のため開講期変更(24)
	社会学	1後 1前 1後			2							担当教員都合のため開講期変更(23) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	法学	1前 1後 1前			2							社会福祉士新法改正に伴い資格対応科目から除外(21) 担当教員都合のため開講期変更(23) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	社会調査	2後 2前 3			2		1					社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当:千頭聡(教授) 担当教員都合のため開講期変更(24)
	福祉行政財と福祉計画	2後 2前			2							社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当:松久保博章(兼任) 担当教員都合のため開講期変更(23)
	権利擁護と成年後見	2前 2後			2							社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当:鷲野林平(兼任) 担当教員都合のため開講期変更(22)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
資格関係科目	更生保護	2後 2前 2後			1							社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当: 木村隆夫(兼任) 担当教員都合のため開講期変更(22) 担当教員都合のため開講期変更(24)	
	障害者福祉論	2前 2前 2後			4	1	+					野崎准教授の教授昇格(22)	
	社会保障論	2前 2後			4							担当教員都合のため開講期変更(24)	
	高齢者に対する支援と介護保険制度 高齢者福祉論	2前 2後			4							社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当: 吉田直美(兼任・准教授) 担当教員都合のため開講期変更(22)	
	児童福祉論	2後 2前 2通			2 4							社会福祉士新法対応に伴う単位変更(21) 担当教員都合のため開講期変更(22)	
	医学概論	2通 2前 2後			4							担当教員都合のため開講期変更(23) 担当教員都合のため開講期変更(24)	
	介護福祉論	2			2							社会福祉士新法対応に伴う科目廃止(21)	
	社会福祉援助技術論Ⅰ 社会福祉方法原論	2後 2前			4							社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当: 吉田直美(兼任・准教授) 担当教員都合のため開講期変更(22)	
	相談援助実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	3通 3後 2			1 2	1						社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当: 吉田直美(兼任・准教授) 科目内容充実のため専任教員を配置(23) 担当: 野崎泰志(教授)	
	福祉経営論Ⅰ	3前			2							社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当: 佐藤皓一(兼任・教授) 科目担当教員の退職に伴う兼任教員配置(24)	
	福祉経営論Ⅱ	3後			2							社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当: 佐藤皓一(兼任・教授) 科目担当教員の退職に伴う兼任教員配置(24)	
	地域福祉論	3後 3前			4	1	+					野崎准教授の教授昇格(22) 担当教員都合のため開講期変更(22)	
	社会福祉学 社会福祉原論	2前 3			4							社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当: 吉田直美(兼任・准教授)	
	公的扶助論	3前			2								
	保健医療サービス	3後			2							社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当: 牧野忠康(兼任・教授)	
	就労支援サービス	3後			1							社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当: 角谷勝己(兼任)	
	社会福祉援助技術論Ⅱ 社会福祉方法各論Ⅰ	3前 3			4 2							社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当: 吉田直美(兼任・准教授)	
	社会福祉援助技術論Ⅲ 社会福祉方法各論Ⅱ	3前 3後			4 2							社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当: 吉田直美(兼任・准教授) 担当教員都合のため開講期変更(23)	
	相談援助演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習	3通			4	+	+					社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当: 野崎泰志(准教授) 記載漏れ: 野崎准教授の教授昇格(22) 兼任教員を配置(24)	
	相談援助演習Ⅱ	4後			1	1	+					社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当: 野崎泰志(准教授) 記載漏れ: 野崎准教授の教授昇格(22)	
	相談援助実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	4通 3			1 2	1						社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当: 吉田直美(准教授) 専任教員を配置(24) 担当: 野崎泰志(教授)	
	相談援助実習 社会福祉援助技術現場実習	4通 3			4	1						社会福祉士新法対応に伴う科目変更(21) 担当: 吉田直美(准教授) 専任教員を配置(24) 担当: 野崎泰志(教授)	
	小計(26科目) 小計(49科目)	-		0	0	11 42 60 46	2 +	0 +	0	0	0		
	※単位数に下線が付されている科目は総合基礎科目、専門基礎科目あるいは専門科目として卒業単位に参入される再掲科目であることを示す。												
	新ふくしキャリア教育科目	日本福祉大学の歴史	4通			2							教育課程整備に伴い総合基礎科目へ組み入れ(24)
		基礎キャリアワーク	4通			4							教育課程整備に伴い、後継科目「障害者支援演習」として総合基礎科目へ組み入れ(24) 全学共通科目として教育課程の充実を図るため新設(21) 担当: 千頭聡(教授)
知多学		4通			2	+						教育課程整備に伴い総合基礎科目へ組み入れ(24) 全学共通科目として教育課程の充実を図るため新設(21) 担当: 伊勢田亮(兼任・教授)、磯部作(兼任・教授)	
知多学フィールドスタディ		4通			2	2						教育課程整備に伴い総合基礎科目へ組み入れ(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
新ふくしキャリア教育科目	福祉の仕事	2通			2						教育課程整備に伴い、後継科目「福祉の力」として総合基礎科目へ組み入れ(24)  教育課程整備に伴い過年度履修実績等から自由科目「新ふくしキャリア教育科目」については、学部の設置科目から廃止。(24)
	学内フィールドワークⅠ	2通			1						
	学内フィールドワークⅡ	2通			1						
	学内フィールドワークⅢ	2通			1						
	学外フィールドワークⅠ	2通			1						
	学外フィールドワークⅡ	2通			1						
	学外フィールドワークⅢ	2通			1						
	チャレンジキャリアワークⅠ	2通			1						
	チャレンジキャリアワークⅡ	2通			1						
	チャレンジキャリアワークⅢ	2通			1						
	チャレンジキャリアワークⅣ	2通			1						
	チャレンジキャリアワークⅤ	2通			1						
	チャレンジキャリアワークⅥ	2通			1						
	チャレンジキャリアワークⅦ	2通			1						
	チャレンジキャリアワークⅧ	2通			1						
	チャレンジキャリアワークⅨ	2通			1						
	チャレンジキャリアワークⅩ	2通			1						
	新ふくし特別講義Ⅰ	2通			1						
	新ふくし特別講義Ⅱ	2通			1						
	新ふくし特別講義Ⅲ	2通			1						
	新ふくし特別講義Ⅳ	2通			1						
	新ふくし特講ワークⅠ	2通			1						
	新ふくし特講ワークⅡ	2通			1						
	新ふくし特講ワークⅢ	2通			1						
	新ふくし特講ワークⅣ	2通			1						
	小計(29科目)			0	0	0	0	0	0	0	
	小計(27科目)					33					
合計(154科目)				301							
合計(177科目)				299	44	7	4				
合計(174科目)		-	12	294	73	6	5	0	0	0	
合計(172科目)				290	66		6				
合計(157科目)				262							

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 109	科目 44	科目 157	科目 4 [ ]	科目 128 [ 19]	科目 22 [△22]	科目 154 [△3]	社会福祉士新法対応に係る科目追加(21) カリキュラム充実のための科目追加(21) カリキュラム充実のための科目追加(22) カリキュラム充実のための科目追加(23) カリキュラム充実のための科目追加(24) 教育課程整備に伴う自由科目の廃止(24)

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	宗教と共同体	2	2	専門基礎	選択	在学生数が予定の収容定員を下回っている関係上、授業が成立するために必要な履修者数確保が困難なため、一部講義科目(4科目)について隔年開講で対応することとした。(22)
2	インドの経済社会	2	2	専門基礎	選択	同上
3	国際福祉開発	2	3	専門	選択	科目担当者の学外研究年につき今年度のみ休講(24)

(注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	介護福祉論	2	2	専門	選択	社会福祉士法改正に伴う科目統合 (21)
2	ことばと文化Ⅰ (マレーシア)	2	3	総合基礎	選択	これまでの履修状況を踏まえ教育課程整備に伴う科目廃止。年次進行中にポルトガル語を追加したため、設置計画に示した3言語 (中・韓・ポ) の科目は維持 (24)  教育課程整備に伴う科目廃止。理由については「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」に記載 (24)
3	ことばと文化Ⅱ (マレーシア)	2	3	総合基礎	選択	
4	学内フィールドワークⅠ	1	2	新ふくし	自由	
5	学内フィールドワークⅡ	1	2	新ふくし	自由	
6	学内フィールドワークⅢ	1	2	新ふくし	自由	
7	学外フィールドワークⅠ	1	2	新ふくし	自由	
8	学外フィールドワークⅡ	1	2	新ふくし	自由	
9	学外フィールドワークⅢ	1	2	新ふくし	自由	
10	チャレンジキャリアワークⅠ	1	2	新ふくし	自由	
11	チャレンジキャリアワークⅡ	1	2	新ふくし	自由	
12	チャレンジキャリアワークⅢ	1	2	新ふくし	自由	
13	チャレンジキャリアワークⅣ	1	2	新ふくし	自由	
14	チャレンジキャリアワークⅤ	1	2	新ふくし	自由	
15	チャレンジキャリアワークⅥ	1	2	新ふくし	自由	
16	チャレンジキャリアワークⅦ	1	2	新ふくし	自由	
17	チャレンジキャリアワークⅧ	1	2	新ふくし	自由	
18	チャレンジキャリアワークⅨ	1	2	新ふくし	自由	
19	チャレンジキャリアワークⅩ	1	2	新ふくし	自由	
20	新ふくし特別講義Ⅰ	1	2	新ふくし	自由	
21	新ふくし特別講義Ⅱ	1	2	新ふくし	自由	
22	新ふくし特別講義Ⅲ	1	2	新ふくし	自由	
23	新ふくし特別講義Ⅳ	1	2	新ふくし	自由	
24	新ふくし特講ワークⅠ	1	2	新ふくし	自由	
25	新ふくし特講ワークⅡ	1	2	新ふくし	自由	
26	新ふくし特講ワークⅢ	1	2	新ふくし	自由	
27	新ふくし特講ワークⅣ	1	2	新ふくし	自由	

(注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。  
 なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。



(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・平成24年度の報告において、(6)の「未開講科目と廃止科目の計」の割合が0.19と大幅に上昇しているが、これは開設時において、学部が開講する科目の外で開講されており、自由科目として履修を認めている全学共通科目「新ふくしキャリア教育科目」が廃止されたことが大きな要因である(未開講・廃止科目30科目の内、24科目が対象の科目)。  
年次進行中に「新ふくしキャリア教育科目」の開講を所管する全学教育センターにおいて、特に大学での学びにおいて重要性が高いと判断した「日本福祉大学の歴史」、「基礎キャリアワーク」(後継科目は「障害者支援演習」)、「知多学」、「知多学フィールドスタディ」、「福祉の仕事」(後継科目は「福祉の力」)の5科目については、各学部の判断により総合基礎科目に組み入れることとした。その他の「新ふくしキャリア教育科目」については、本学部をはじめとする年次進行学部の完成をまって、順次、閉じていく方針で教育計画編成を進めており、今年度、その学則変更が反映された結果として「未開講と廃止科目の計」の割合が増大したものである。(24)

・他方で社会福祉士法の改正等の理由により、学部開設2年目に科目の充実を行った。また、完成以降、学部として学生の学習志向を海外でのフィールドワーク等の学部独自の体験学習に積極的に方向づけたいことから、国内外の福祉開発現場でのインターンシッププログラムとして、「国際協働インターンシップI・II」を学部独自に設置するとともに、平成25年度に向けて、海外の連携協定校との16単位相当分の中期留学プログラムの設置検討に着手した。(24)

・平成22年度に未開講となっている「宗教と共同体」(2月集中講義)及び「インドの経済社会」(9月集中講義)については、設置計画どおりに開講した場合、授業が成立する最低限の履修者数確保が困難であることが予想された。そのため、「ジェンダー論」(2月集中講義)、「教育協力」(9月集中講義)とで隔年開講をとることとした。学生に対しては履修に際してのガイドラインである「学部ガイド」中に当該科目が隔年開講であることを明記した上で、履修指導等でも隔年開講科目を踏まえて履修計画を作成するよう周知徹底を行った。(22)

・廃止科目である「介護福祉論」については2009年度からの社会福祉士法の改正に伴う指定科目の変更に従い、従来の「高齢者福祉論」とあわせて「高齢者に対する支援と介護保険制度」の中で統合的に取り扱われることとなったためである。該当する2009年度新入生については新入生オリエンテーションの中で法改正に伴う新たな社会福祉士対応するカリキュラムの説明とあわせて当該科目の取り扱いについて説明を行った。(21)

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.19}$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	※校地・校舎等の面積変更 について、(別紙1)にて 説明			
	校 舎 敷 地	158,140.93 m <sup>2</sup> <del>167,683.01 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	158,140.93 m <sup>2</sup> <del>167,683.01 m<sup>2</sup></del>	体育施設底地2,805.10m <sup>2</sup> ・ ドーム4,278.00m <sup>2</sup> を校舎敷 地として増、駐車場△ 10,199.23m <sup>2</sup> 及び展示室等△ 756.95m <sup>2</sup> を減少(21) 寄付行為変更申請に伴い文 部科学省の指導により借地 △5,669.00m <sup>2</sup> を変更(21)			
	運 動 場 用 地	65,400.83 m <sup>2</sup> <del>67,237.90 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	65,400.83 m <sup>2</sup> <del>67,237.90 m<sup>2</sup></del>	駐車場用地△1,837.07m <sup>2</sup> を 錯誤による算入分の減少 (21)			
	小 計	223,541.76 m <sup>2</sup> <del>234,920.91 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	223,541.76 m <sup>2</sup> <del>234,920.91 m<sup>2</sup></del>				
	そ の 他	0.00 m <sup>2</sup> <del>7,772.10 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup> <del>7,772.10 m<sup>2</sup></del>	体育施設2,805.10m <sup>2</sup> 及び ドーム4,278.00m <sup>2</sup> を校舎敷 地に変更し、駐車場△ 689.00m <sup>2</sup> を減少(21)			
	合 計	223,541.76 m <sup>2</sup> <del>242,693.01 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	223,541.76 m <sup>2</sup> <del>242,693.01 m<sup>2</sup></del>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	美浜C子ども発達棟の建築 面積が登記測量により△ 84.68m <sup>2</sup> 減少したため(21)				
	55,008.09 m <sup>2</sup> <del>55,257.76 m<sup>2</sup></del> (55,008.09 m <sup>2</sup> ) <del>(55,257.76 m<sup>2</sup>)</del>	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	55,008.09 m <sup>2</sup> <del>55,257.76 m<sup>2</sup></del> (55,008.09 m <sup>2</sup> ) <del>(55,257.76 m<sup>2</sup>)</del>	美浜C13号館展示室△ 164.95m <sup>2</sup> を錯誤により算入 分の減少(21) 半田C実習教育棟の建築面 積が登記測量により△0.04 m <sup>2</sup> 減少したため(21)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	92 室	140室 <del>143 室</del>	95室 <del>94 室</del>	11 室 <del>13人 11人 (補助職員19人)</del>	0 室  (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	国際福祉開発学部国際福祉開発学科			11室 11.5室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用分図書 259,701冊 [58,702冊] 学 術雑誌1,832種 [20種]	
	国際福祉開発学部 国際福祉開発学科	12,806 [3,574] (13,201 [3,651]) (13,024 [3,608]) (12,737 [3,564])	77 [33] (78 [34]) (77 [33])	1,000 [400] (4,925 [3,476]) (4,460 [3,535]) (3,038 [2,209])	2,841 (2,915) (2,901) (2,833)	0 ( 0 )	0 ( 0 )		図書資料の整備、充実を 図るため(24) ※共用分図書は、267,996 冊(うち外国書66,610冊 を整備)共用分学術雑誌は 1,837種(うち外国書21 種)を整備
	計	12,806 [3,574] (13,201 [3,651]) (13,024 [3,608]) (12,737 [3,564])	77 [33] (78 [34]) (77 [33])	1,000 [400] (4,925 [3,476]) (4,460 [3,535]) (3,038 [2,209])	2,841 (2,915) (2,901) (2,833)	0 ( 0 )	0 ( 0 )		
(6) 図 書 館	面積	閲覧座席数		取 納 可 能 冊 数		大学全体			
	4,378.66 m <sup>2</sup>	715席 685席		662,000冊		図書館利用環境の整備、 充実を図るため(24)			
(7) 体 育 館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	3,512.50 m <sup>2</sup>	球技場、野球場、プール、 アーチェリー場 各1			バスケットコート4面、テニス コート8面、バレーコート5面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	国際福祉開発学科 図書費には電子ジャーナ ル・データベースの整備 費(運用コスト含む)を 含む。 図書資料の整備、充実を 図るため(20)
		教員1人当り研究費等	451千円 509千円	550千円 513千円	図書購入費	6,490千円 6,000千円	6,014千円 6,000千円	6,108千円 6,000千円	
	共同研究費等	2,789千円 2,100千円	2,250千円 2,100千円	設備購入費	4,160千円	87千円 1,710千円	2,848千円 1,710千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書資料の整備、充実を 図るため(21) 図書資料の整備、充実を 図るため(24) 共同研究の充実のため (21) 設備購入費は次年度繰越 (21) 研究の充実を図るため (22) 研究の充実を図るため (24)	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用・事業収入等を充当する。							

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている  
いる場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の  
項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その  
理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を  
併せて提出してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

国際福祉開発学科届出申請時

国際福祉開発学科履行状況報告時根拠

校地・校舎	校地	㎡
校舎敷地	美浜校地	134,398.00
	半田校地	32,520.01
	名古屋校地	765.00
	南知多校地	0.00
校舎敷地計		167,683.01
運動場用地	美浜校地	58,230.90
	半田校地	9,007.00
運動場用地計		67,237.90
小計		234,920.91
小計		223,541.76
差異		△ 11,379.15
その他	美浜校地	2,805.10
	南知多スポーツドーム	4,967.00
その他計		7,772.10
校地合計		<b>242,693.01</b>

校地・校舎	校地	㎡	申請との差異	差異の内訳
校舎敷地	美浜校地	122,865.61	▲ 11,532.39	錯誤により、校舎敷地に参入していた駐車場、メモリアルホールを減算 減算計 ▲14,337.49㎡ 駐車場 7,911.54㎡ (第一P1,501.77㎡、第二P2,607.34㎡、第三P2,302.16㎡、 第四P440.46㎡、第五P530.35㎡通学バス停529.46㎡) メモリアルホール 756.95㎡ (13号館展示ホール164.95㎡、友愛の丘592.00㎡) 文部科学省の指導により借地を変更 5,669.00㎡ 錯誤により、校舎敷地に非参入としていた体育施設底地を加算 加算計 2,805.10㎡ 体育館 1838.00㎡、 トレーニングルーム 263.00㎡、 武道場 448.12㎡ 第2グラウンド会議室 105.01㎡、 第2グラウンド倉庫 150.97㎡
	半田校地	30,313.32	▲ 2,206.69	錯誤により、校舎敷地に参入していた駐車場を減算 減算計 ▲2,206.69㎡ 駐車場 2,206.69㎡ (身障者P68.50㎡、第二P184.33㎡、第三・五P1,425.43㎡、 第四P528.43㎡)
	名古屋校地	684.00	▲ 81.00	錯誤により、校舎敷地に参入していた駐車場を減算 減算計 ▲81.00㎡ 駐車場 81.00㎡
	南知多校地	4,278.00	4,278.00	錯誤により、校舎敷地に非参入としていた体育施設底地を加算 加算計 4,278.00㎡ 南知多スポーツドーム 4,278.00㎡
校舎敷地計		158,140.93	▲ 9,542.08	
運動場用地	美浜校地	58,230.90	0.00	
	半田校地	7,169.93	▲ 1,837.07	錯誤により、運動場用地に参入していた駐車場を減算 減算計 ▲1,837.07㎡ 自走式駐車場 1,873.07㎡
運動場用地計		65,400.83	▲ 1,837.07	
小計		223,541.76	▲ 11,379.15	
小計		223,541.76	0.00	
差異		0.00		
その他	美浜校地	0.00	▲ 2,805.10	錯誤により、その他に参入していた体育施設底地を校舎敷地に振り替えたため減算 減算計 ▲2,805.10㎡ 体育館 1838.00㎡、 トレーニングルーム 263.00㎡、 武道場 448.12㎡ 第2グラウンド会議室 105.01㎡、 第2グラウンド倉庫 150.97㎡
	南知多校地	0.00	▲ 4,967.00	錯誤により、その他に参入していた体育施設底地を校舎敷地に振り替えたため減算 減算計 ▲4,278.00㎡ 南知多スポーツドーム 4,278.00㎡ 錯誤により、その他に参入していた駐車場用地を減算 減算計 ▲689.00㎡ 南知多スポーツドーム (駐車場) 689.00㎡
その他計		0.00	▲ 7,772.10	
校地合計		<b>223,541.76</b>	▲ 19,151.25	

校舎	校地	㎡
校舎	美浜校地	37,689.96
	半田校地	13,752.76
	名古屋校地	3,815.04
校舎合計		<b>55,257.76</b>

校舎	校地	㎡	申請との差異	差異の内訳
校舎	美浜校地	37,440.33	▲ 249.63	錯誤により、校舎面積に算入していたメモリアルホールを減算 減算計 ▲164.95㎡ メモリアルホール(13号館展示ホール) 164.95㎡ 新築校舎の登記による設計面積との差異を減算 (20) 減算計 ▲84.68㎡ 15号館 設計面積1,909.48㎡ 登記実測面積1,824.80㎡
	半田校地	13,752.72	▲ 0.04	新築校舎の登記による設計面積との差異を減算 (20) 減算計 ▲0.04㎡ 教育実習棟 設計面積3,226.80㎡ 登記実測面積3,226.78㎡
	名古屋校地	3,815.04	0.00	
校舎合計		<b>55,008.09</b>	▲ 249.67	

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	日本福祉大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
健康科学部									
リハビリテーション学科	4	120	—	480	学士（健康科学）	1.11	平成20年度	愛知県半田市東生見町 26番2	
福祉工学科	4	120	—	480	学士（健康科学）	0.55	平成20年度	同上	
子ども発達学部									
子ども発達学科	4	150	—	600	学士（子ども発達学）	1.19	平成20年度	愛知県知多郡美浜町 大学奥田字会下前35番6	
心理臨床学科	4	115	—	460	学士（心理臨床学）	1.18	平成20年度	同上	
社会福祉学部									
社会福祉学科	4	540	3年次 40	2,240	学士（社会福祉学）	1.12	昭和32年度	同上	
保健福祉学科	4	—	—	—	学士（保健福祉学）	—	平成12年度	同上	平成23年度より 学生募集停止
心理臨床学科	4	—	—	—	学士（福祉心理臨床学）	—	平成16年度	同上	平成20年度より 学生募集停止
経済学部									
経済学科	4	250	—	1,000	学士（経済学）	0.68	昭和51年度	同上	
福祉経営学部									
医療・福祉マネジメント学科	4	—	—	—	学士（福祉経営学）	—	平成15年度	同上	平成23年度より 学生募集停止
国際福祉開発マネジメント学科	4	—	—	—	学士（福祉経営学）	—	平成15年度	同上	平成20年度より 学生募集停止
通信教育部									
福祉経営学部									
医療・福祉マネジメント学科	4	1,000	—	4,000	学士（福祉経営学）	0.61	平成15年度	同上	
情報社会科学部									
人間福祉情報学科	4	—	—	—	学士（情報社会科学）	—	平成16年度	愛知県半田市東生見町 26番2	平成20年度より 学生募集停止
生活環境情報学科	4	—	—	—	学士（情報社会科学）	—	平成16年度	同上	平成20年度より 学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<国際福祉開発学部 国際福祉開発学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名			
専	教授	小倉 美津夫	平成21年4月	国際交流ファシリテーション演習Ⅱ	専	准教授	中西 哲彦	平成24年4月	国際交流ファシリテーション演習Ⅱ	担当教員の変更(24)		
				英語学概論 英語学演習								
				英語音声学	兼任	講師	加藤 とも子	平成24年4月	英語音声学	兼任教員に担当変更(24)		
				総合演習 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ 教育実習Ⅰ(中等) 教育実習Ⅱ(中等) 教育実習Ⅲ(中等)								
							平成22年4月	インターンシップⅠ インターンシップⅡ				科目内容充実のための担当教員追加(22)
							平成24年4月	国際フィールドワークⅠ 国際フィールドワークⅡ				科目内容充実のための担当教員追加(22)
							平成24年4月	国際協働インターンシップⅠ 国際協働インターンシップⅡ	科目追加に伴う専任教員配置(24)			
							平成25年4月	教職実践演習	教員免許法改正による科目追加に伴う専任教員配置(24)			
専	教授(学部長)	影戸 誠	平成20年4月	国際フィールドワークⅠ 国際フィールドワークⅡ 英語プレゼンテーションⅠ								
				英語プレゼンテーションⅡ	兼任	講師	Lucas Ford	平成24年4月	英語プレゼンテーションⅡ	兼任教員に担当変更(24)		
				英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ								
				英語プレゼンテーションⅢ	兼任	講師	松波 光紀	平成24年4月	英語プレゼンテーションⅢ	兼任教員に担当変更(24)		
				総合演習 専門演習 卒業研究								
							平成21年4月	国際交流ファシリテーション演習Ⅱ				科目内容充実のための担当教員追加(21)
							平成23年4月	国際フィールドワークⅢ 国際フィールドワークⅣ	科目内容充実のための担当教員追加(23)			
専	教授	斎藤 千宏	平成20年4月	国際フィールドワークⅠ 国際フィールドワークⅡ								
				国際交流ファシリテーション演習Ⅰ	専	准教授	小園 和子	平成20年4月	国際交流ファシリテーション演習Ⅰ	担当教員の変更(20)		
				開発教育	兼任	講師	田中 雅子	平成24年4月	開発教育	前担当教員の学外研究に伴う担当者変更(24)		
				国際福祉開発								
							平成21年4月	国際フィールドワークⅢ 国際フィールドワークⅣ				カリキュラム充実のため科目追加(21)
							平成22年4月	比較文化論 専門演習 卒業研究				本人都合による担当教員変更(22) カリキュラム充実のため科目追加(22)
			平成23年4月	総合演習				カリキュラム充実のため科目追加(23)				
					兼任	講師	土井 佳彦	平成24年4月	比較文化論	前担当教員の学外研究に伴う担当者変更(24)		

届出時の計画					変更状況					備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名				
専	教授	千頭 聡	平成20年4月	国際フィールドワークⅠ 環境と開発 国際フィールドワークⅡ						社会福祉士新法 対応に伴う科目 名変更(21)			
				くらしと統計							平成21年4月	社会調査	
				総合演習 インターンシップⅡ 開発ソーシャルワーク演習 専門演習 卒業研究							平成21年4月	知多学 知多学フィールドスタディ	カリキュラム充 実のため科目追 加(21)
専	教授	張 淑梅	平成20年4月	基礎演習 中国の経済社会 経営学 総合演習 インターンシップⅠ 専門演習 卒業研究									
											平成20年4月	国際フィールドワークⅠ 国際フィールドワークⅡ	カリキュラム充 実のため科目追 加(20)
											平成22年4月	インターンシップⅡ ビジネスリテラシー	カリキュラム充 実のため科目追 加(22)
専	教授	余語 トシヒロ	平成20年4月	福祉開発	専	教授	千頭 聡	平成24年4月	福祉開発	退職に伴う担当 教員変更(24)			
				比較文化論	専	准教授	吉村 輝彦	平成24年4月	福祉開発	退職に伴う担当 教員変更(24)			
					専	教授	斎藤 千宏	平成22年4月	比較文化論	担当教員の変更 (22)			
専	准教授	岡本 真理子	平成20年4月	基礎演習						開講クラス数減 に伴う担当科目 減(20)			
				くらしと経済 ビジネスリテラシー 総合演習 開発ソーシャルワーク演習		教授					担当教員の昇格 (20)		
				貧困と開発	専	教授	余語 トシヒロ	平成22年4月	貧困と開発	担当教員の変更 (22)			
					兼任	講師	谷村 光充	平成24年4月	貧困と開発	退職に伴う担当 教員変更(24)			
							平成21年4月	国際フィールドワークⅠ 国際フィールドワークⅡ	カリキュラム充 実のため科目追 加(21)				
							平成23年4月	専門演習	カリキュラム充 実のため科目追 加(23)				
専	准教授	小國 和子	平成20年4月	異文化理解 基礎演習 国際協力 総合演習 開発ソーシャルワーク演習 開発人類学						カリキュラム充 実のため科目追 加(21)			
											平成21年4月	国際フィールドワークⅠ 国際フィールドワークⅡ	

届出時の計画					変更状況					備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名				
専	准教授	佐藤 慎一	平成20年4月	情報処理演習									
				キャリアアップ英語Ⅰ	兼任	講師	烏山 逸雄	平成24年4月	キャリアアップ英語Ⅰ	科目負担減のため兼任教員を配置(24)			
				キャリアアップ英語Ⅱ	専	教授	影戸 誠	平成21年4月	キャリアアップ英語Ⅱ	担当教員の変更(21)			
				キャリアアップ英語Ⅲ	専	教授	影戸 誠	平成22年4月	キャリアアップ英語Ⅲ	担当教員の変更(22)			
				国際交流ファシリテーション演習Ⅰ メディアデザイン ネットワークデザイン 専門演習 卒業研究									
								平成20年4月	国際フィールドワークⅠ	カリキュラム充実のため科目追加(20)			
								平成22年4月	国際交流ファシリテーション演習Ⅲ	カリキュラム充実のため科目追加(22)			
								平成23年4月	総合演習	カリキュラム充実のため科目追加(23)			
専	准教授	中西 哲彦	平成20年4月	英語総合基礎Ⅰ 英語総合基礎Ⅱ アクティブリーディングⅠ									
				アクティブリーディングⅡ	兼任	講師	服部 美香	平成24年4月	アクティブリーディングⅡ	科目負担減のため兼任教員を配置(24)			
				アクティブリーディングⅢ アクティブリーディングⅣ									
				実践英語コミュニケーションⅠ	兼任	講師	山守 千穂	平成24年4月	実践英語コミュニケーションⅠ	兼任教員に担当変更(24)			
				英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ									
				英語コミュニケーションⅢ	兼任	講師	Charles Edward Scruggs	平成24年4月	英語コミュニケーションⅢ	兼任教員に担当変更(24)			
				英語コミュニケーションⅣ									
											平成22年4月	国際フィールドワークⅠ 国際フィールドワークⅡ	カリキュラム充実のため科目追加(22)
								平成24年4月	ニュース英語	兼任教員に担当変更(24)			
								平成24年4月	専門演習	カリキュラム充実のため科目追加(24)			
専	准教授	野崎 泰志	平成20年4月	基礎演習 インターンシップⅠ 障害者福祉論 開発ソーシャルワーク演習 地域福祉論 専門演習 卒業研究							担当教員の昇格(22)		
											平成21年4月	国際フィールドワークⅠ 国際フィールドワークⅡ	カリキュラム充実のため科目追加(21)
											平成21年4月	相談援助演習Ⅰ	社会福祉士新法対応に伴う担当科目追加(21)
				兼任	講師	丹内 心悟	平成24年4月	相談援助演習Ⅰ	兼任教員に担当変更(24)				
											平成21年4月	相談援助演習Ⅱ	社会福祉士新法対応に伴う担当科目追加(21)
											平成23年4月	相談援助実習指導Ⅰ (旧:社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ)	社会福祉士新法対応に伴う担当科目追加(21) 科目内容充実のため担当教員追加(23)
											平成24年4月	相談援助実習指導Ⅱ (旧:社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ)	カリキュラム充実のための科目追加(24)
							平成24年4月	相談援助実習 (旧:社会福祉援助技術現場実習)	カリキュラム充実のための科目追加(24)				

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	吉村 輝彦	平成20年4月	国際フィールドワークⅠ 国際フィールドワークⅡ	専	教授	千頭 聡	平成21年4月	社会調査	社会福祉士新法対応に伴う担当教員変更(21)
				くらしと統計					総合演習	カリキュラム充実のため科目追加(21)
				インターンシップⅠ 開発ソーシャルワーク演習 参加型のまちづくり 専門演習 卒業研究					現代福祉※	カリキュラム充実のため科目追加(22)
兼任	教授	足立 浩	平成21年4月	学内フィールドワークⅠ 学内フィールドワークⅡ 学内フィールドワークⅢ 学外フィールドワークⅠ 学外フィールドワークⅡ 学外フィールドワークⅢ	兼任	教授	近藤 直子	平成21年4月	学内フィールドワークⅠ 学内フィールドワークⅡ 学内フィールドワークⅢ 学外フィールドワークⅠ 学外フィールドワークⅡ 学外フィールドワークⅢ	自由科目担当教員の変更(21)
				新ふくし特別講義Ⅱ 新ふくし特講ワークⅢ	兼任	教授	藤井 克美	平成21年4月	新ふくし特別講義Ⅱ	自由科目担当教員の変更(21)
兼任	教授	雨森 孝悦	平成22年4月	NPO/NGO論						
兼任	教授	小椋 喜一郎	平成22年4月	社会福祉原論						
兼任	教授	柿沼 肇	平成21年4月	教育学Ⅰ					教育学概論	教職課程の設置にあたり、中教審より科目名称を変更するよう指示があったため(21)
				教育史						
兼任	教授	加藤 幸雄	平成20年4月	福祉社会入門	兼任	教授	足立 浩	平成22年4月	福祉社会入門	担当教員の変更(22)
兼任	教授	加藤 俊二	平成21年4月	児童福祉論	兼任	准教授	堀場 純矢	平成21年4月	児童福祉論	担当教員の変更(21)
				社会福祉方法各論Ⅱ 社会福祉援助技術演習	兼任	准教授	中村 強士	平成23年4月	児童福祉論	カリキュラム充実のための担当教員追加(23)
					兼任	教授	渡邊 忍	平成24年4月	児童福祉論	本人都合による担当教員変更(24)
兼任	教授	木戸 利秋	平成20年4月	日本福祉大学の歴史 新ふくし特講ワークⅠ						
兼任	教授	関口 和雄	平成21年4月	新ふくし特別講義Ⅲ						
兼任	教授	高橋 紘一	平成21年4月	新ふくし特別講義Ⅰ						
兼任	教授	日月 裕	平成20年4月	こころとからだ	兼任	准教授	吉井 清子	平成23年4月	こころとからだ	学部間調整により担当教員変更(23)
				医学概論						
兼任	教授	野呂 春文	平成21年4月	新ふくし特別講義Ⅳ 新ふくし特講ワークⅣ						
兼任	教授	穂坂 光彦	平成20年4月	現代福祉						
兼任	教授	三輪 憲次	平成20年4月	福祉の仕事	兼任	教授	中村 信次	平成21年4月	基礎キャリアアワーク チャレンジキャリアアワークⅠ チャレンジキャリアアワークⅡ チャレンジキャリアアワークⅢ チャレンジキャリアアワークⅣ チャレンジキャリアアワークⅤ チャレンジキャリアアワークⅥ チャレンジキャリアアワークⅦ チャレンジキャリアアワークⅧ チャレンジキャリアアワークⅧ チャレンジキャリアアワークⅨ チャレンジキャリアアワークⅩ	自由科目担当教員の変更(21)
				基礎キャリアアワーク チャレンジキャリアアワークⅠ チャレンジキャリアアワークⅡ チャレンジキャリアアワークⅢ チャレンジキャリアアワークⅣ チャレンジキャリアアワークⅤ チャレンジキャリアアワークⅥ チャレンジキャリアアワークⅦ チャレンジキャリアアワークⅧ チャレンジキャリアアワークⅨ チャレンジキャリアアワークⅩ						



届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	山本 敏郎	平成21年4月	教育学Ⅱ					教育課程論	教職課程の設置にあたり、中教審より科目名称を変更するよう指示があったため(21)
				教育方法論 生徒の生活と進路の指導	兼任	准教授	今井 理恵	平成23年4月	教育課程論 教育方法論 生徒の生活と進路の指導	新規教員赴任に伴う科目担当者変更(23)
兼任	准教授	石井 建夫	平成21年4月	道徳の指導法					道徳教育の指導法	教職課程の設置にあたり、中教審より科目名称を変更するよう指示があったため(20)
					兼任	講師	井上 陽子	平成21年4月	道徳教育の指導法	石井建夫教授の病氣休職のため担当教員一時変更(21)
					兼任	准教授	今井 理恵	平成23年4月	道徳教育の指導法	新規教員赴任に伴う科目担当者変更(23)
兼任	教授 准教授	大竹 秀樹	平成22年4月 平成20年4月	法と社会(日本国憲法) 国際人権法	兼任	講師	日比 拓也	平成24年4月	法と社会(日本国憲法)	本人都合による担当教員変更(24)
					兼任	講師	大竹 秀樹	平成24年4月	国際人権法 こころとからだ	退職に伴う任用変更と担当科目追加(24)
兼任	准教授	瀬地山 葉矢	平成21年4月	カウンセリング論	兼任	講師	濱家 徳子	平成24年4月	カウンセリング論	本人都合による担当教員変更(24)
兼任	准教授	中村 信次	平成20年4月	心理学	兼任 兼任	助教 講師	矢崎 裕美子	平成24年4月 平成20年4月	心理学 文章作成力演習	担当教員の変更(20) 本学専任教員採用(24) 担当科目の追加(24)
兼任	准教授	松井 健	平成20年4月	健康・スポーツ演習	兼任	講師	荒賀 博志	平成20年4月	健康・スポーツ (旧:健康・スポーツ演習)	担当教員の変更(20) 教育課程整備に伴う科目名称変更(24)
兼任	准教授	李 忻	平成21年4月	社会保障論						
兼任	助教	柏原 正尚	平成21年4月	社会福祉方法原論 社会福祉方法各論Ⅰ	兼任	教授	杉山 章子	平成21年4月	社会福祉方法原論	担当教員の変更(21)
兼任	助教	柴田 順三	平成21年4月	教職入門	兼任	助教	高須 和博	平成21年4月	教職入門	本人都合による退職のため担当教員変更(21)
兼任	助教	明星 智美	平成21年4月	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 公的扶助論						
				社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習	兼任	教授	笛木 俊一	平成22年4月	公的扶助論	担当教員の変更(21)
					兼任	准教授	山田 壮志郎	平成23年4月	公的扶助論	担当教員の変更(23)
兼任	講師	足立 静子	平成20年4月	アクティブラーニングⅠ アクティブラーニングⅡ 実践英語コミュニケーションⅡ						開講クラス数減に伴う担当科目減(20)
兼任	講師	荒木 重雄	平成21年4月	宗教と共同体						
兼任	講師	石川 公子	平成20年4月	日本語と文化Ⅰ-1 日本語と文化Ⅰ-2 日本語と文化Ⅲ-1 日本語と文化Ⅲ-2						
兼任	講師	岩田 奇志	平成22年4月	ことばと文化Ⅰ(中国)	兼任	講師	黄 璋	平成22年4月	ことばと文化Ⅰ(中国)	本人都合による担当教員変更(22)
兼任	講師	宇佐美 真由美	平成22年4月	ことばと文化Ⅰ(マレーシア) ことばと文化Ⅱ(マレーシア)						
兼任	講師	春日 三和子	平成20年4月	実践英語コミュニケーションⅠ	兼任	講師	中村 一子	平成20年4月	実践英語コミュニケーションⅠ	本人都合による担当教員変更(20)
兼任	講師	加藤 美貴子	平成21年4月	実践英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	吉野 里美	平成21年4月	実践英語コミュニケーションⅡ	本人都合による担当教員変更(21)
										開講クラス数減に伴う担当科目減(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	片山 徹	平成21年4月	高齢者福祉論	兼任	准教授	吉田 直美	平成21年4月	高齢者福祉論	学部間調整により担当教員変更(21)
兼任	講師	河合 克己	平成22年4月	特別活動方法論(中等)	兼任	講師	藤岡 恭子	平成22年4月	特別活動方法論(中等)	本人都合による担当教員変更(22)
					兼任	准教授	今井 理恵	平成23年4月	特別活動方法論(中等)	新規教員赴任に伴う科目担当者変更(23)
兼任	講師	川本 綾	平成22年4月	ことばと文化Ⅰ(韓国) ことばと文化Ⅱ(韓国)	兼任	講師	李 光済	平成22年4月	ことばと文化Ⅰ(韓国) ことばと文化Ⅱ(韓国)	本人都合による担当教員変更(22)
					兼任	講師	崔 昇浩	平成23年4月	ことばと文化Ⅰ(韓国) ことばと文化Ⅱ(韓国)	本人都合による担当教員変更(23)
兼任	講師	木村 愛子	平成20年4月	日本語と文化Ⅱ-1 日本語と文化Ⅱ-2 日本語と文化Ⅳ-1 日本語と文化Ⅳ-2 日本語教授法入門						
兼任	講師	木村 美奈子	平成22年4月	教育心理学						
兼任	講師	黄 璋	平成22年4月	ことばと文化Ⅱ(中国)						
兼任	講師	佐藤 光	平成21年4月	国際保健	兼任	講師	小川 圭子	平成21年4月	国際保健	本人都合による担当教員変更(21)
兼任	講師	鈴木 あつ子	平成21年4月	実践英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	山守 千穂	平成21年4月	実践英語コミュニケーションⅡ	本人都合による担当教員変更(21)
兼任	講師	武田 啓子	平成21年4月	介護福祉論	兼任	教授	篠田 道子	平成21年4月	介護福祉論	学部間調整により担当教員変更(21)
兼任	講師	田口 昌樹	平成20年4月	法学	兼任	教授	前原 清隆	平成22年4月	法学	学部間調整により担当教員変更(22)
					兼任	講師	大津 千明	平成23年4月	法学	学部間調整により担当教員変更(23)
					兼任	講師	武川 真固	平成24年4月	法学	本人都合による担当教員変更(24)
兼任	講師	Charles Edward Scruggs	平成22年4月	英米文学史 英米文学講義Ⅰ 英米文学講義Ⅱ						
兼任	講師	永岡 宏昌	平成22年4月	教育協力	兼任	講師	秋吉 恵	平成22年4月	教育協力	本人都合による担当教員変更(22)
					兼任	講師	中村 聡	平成24年4月	教育協力	本人都合による担当教員変更(24)
					兼任	講師	前田 美子	平成24年4月	教育協力	本人都合による担当教員変更(24)
兼任	講師	中嶋 順子	平成21年4月	インドの経済社会						
兼任	講師	中村 一子	平成20年4月	English for ICTⅠ English for ICTⅡ アクティブラーニングⅠ アクティブラーニングⅡ アクティブラーニングⅢ アクティブラーニングⅣ アクティブラーニングⅤ	兼任	講師	服部 美香	平成22年4月	English for ICTⅠ English for ICTⅡ	本人都合による担当教員変更(22)
					兼任	講師	Charles Edward Scruggs	平成22年4月	アクティブラーニングⅠ アクティブラーニングⅡ	本人都合による担当教員変更(22)
									開講クラス数減に伴う担当科目減(21)	
					兼任	講師	服部 美香	平成22年4月	アクティブラーニングⅤ	本人都合による担当教員変更(22)
兼任	講師	丹波 信夫	平成21年4月	英語デジタルコンテンツ	専任	教授	影戸 誠	平成22年4月	英語デジタルコンテンツ	本人都合による担当教員変更(22)
					兼任	講師	丹波 信夫	平成23年4月	英語デジタルコンテンツ	当初設置計画の担当教員を配置(23)

届出時の計画					変更状況					備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名			
兼任	講師	松尾 由佳理	平成20年4月	英語総合基礎Ⅰ						開講クラス数減に伴う担当科目減(20)		
				英語総合基礎Ⅱ								
				English for ICTⅠ								
				English for ICTⅡ								
				英語コミュニケーションⅠ								
				英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	Gary Alan Kirkpatrick	平成21年4月	英語プレゼンテーションⅠ	再履修者クラス設置に伴い担当教員変更(21)		
				英語コミュニケーションⅢ					英語プレゼンテーションⅡ	本人都合により担当教員変更(21)		
				英語コミュニケーションⅣ	兼任	講師	服部 美香	平成22年4月	英語プレゼンテーションⅢ	本人都合による担当教員変更(22)		
				英語プレゼンテーションⅠ	兼任	講師	Gary Alan Kirkpatrick	平成22年4月	英語プレゼンテーションⅣ	本人都合による担当教員変更(22)		
				英語プレゼンテーションⅡ								
				英語プレゼンテーションⅢ								
				英語プレゼンテーションⅣ								
兼任	講師	松波 光紀	平成20年4月	英語総合基礎Ⅰ								
				英語総合基礎Ⅱ								
				英語コミュニケーションⅠ	兼任	講師	若槻 なぎさ	平成21年4月	英語コミュニケーションⅠ	本人都合による担当教員変更(21)		
				英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	吉野 里見	平成22年4月	英語コミュニケーションⅠ	本人都合による担当教員変更(22)		
									英語コミュニケーションⅡ	本人都合による担当教員変更(22)		
				英語プレゼンテーションⅠ	兼任	講師	若槻 なぎさ	平成20年4月	英語プレゼンテーションⅠ	本人都合による担当教員変更(20)		
				英語プレゼンテーションⅡ	兼任	講師	中村 一子	平成22年4月	英語プレゼンテーションⅠ	本人都合による担当教員変更(22)		
				英語プレゼンテーションⅢ					英語プレゼンテーションⅡ	本人都合による担当教員変更(22)		
										開講クラス数減に伴う担当科目減(21)		
兼任	講師	三輪 敦子	平成22年4月	ジェンダー論								
兼任	講師	森西 香代子	平成20年4月	アクティブラーニングⅢ						開講クラス数減に伴う担当科目減(21)		
				アクティブラーニングⅣ							開講クラス数減に伴う担当科目減(22)	
				アクティブラーニングⅤ								
				実践英語コミュニケーションⅠ	兼任	講師	若槻 なぎさ	平成20年4月	実践英語コミュニケーションⅠ	本人都合による担当教員変更(20)		
兼任	講師	山口 宏	平成20年4月	社会学	兼任	講師	新城 優子	平成23年4月	社会学	本人都合による担当教員変更(23)		
兼任	講師	山田 強一	平成22年4月	芸術文化	兼任	講師	湯浅 英雄	平成22年4月	芸術文化	本人都合による担当教員変更(22)		
兼任	講師	山田 さつき	平成22年4月	観光英語								
兼任	講師	山本 いづみ	平成21年4月	EUの経済社会	兼任	講師	西本 和見	平成22年4月	EUの経済社会	本人都合による担当教員変更(22)		
兼任	講師	山根 真紀	平成20年4月	健康・スポーツ演習								

届出時の計画					変更状況					備考					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名						
兼任	講師	吉野 里美	平成20年4月	英語総合基礎 I	兼任	講師	足立 静子	平成20年4月	英語総合基礎 I	本人都合による担当教員変更 (20)					
				英語総合基礎 II					英語総合基礎 II		本人都合による担当教員変更 (23)				
				English for ICT I					兼任		講師	吉野 里美	平成23年4月	英語総合基礎 I	本人都合による担当教員変更 (22)
				English for ICT II					兼任		講師	衛藤 理香	平成22年4月	English for ICT I	本人都合による担当教員変更 (23)
				実践英語コミュニケーション I					兼任		講師	松尾 由佳理	平成23年4月	English for ICT II	本人都合による担当教員変更 (23)
				英語コミュニケーション I											開講クラス数減に伴う担当科目減 (20)
				英語コミュニケーション II									平成22年4月	実践英語コミュニケーション I	開講クラス数増に伴う担当科目追加 (22)
				英語プレゼンテーション III											
				英語プレゼンテーション I											
				英語プレゼンテーション II											
兼任	講師	吉野 里美	平成20年4月	ニュース英語	専	准教授	中西 哲彦	平成21年4月	ニュース英語	記載誤り・担当教員都合により平成21年度のみ専任教員が担当 (21) 科目内容充実のために専任教員を配置 (21)					
				英語プレゼンテーション IV					兼任		講師	服部 美香	平成22年4月	ニュース英語	当初の計画通り担当 (22)
															開講クラス数減に伴う担当科目減 (22)
				English for ICT I					兼任		講師	伊藤 ひさみ	平成20年4月	English for ICT I	本人都合による担当教員変更 (20)
				English for ICT II					兼任		講師	山守 千穂	平成21年4月	English for ICT I	本人都合による担当教員変更 (21)
				アクティブリーディング I					兼任		講師	鈴木 あつ子	平成22年4月	English for ICT II	本人都合による担当教員変更 (22)
				アクティブリーディング II					兼任		講師	岡田 佐由里	平成20年4月	アクティブリーディング I	本人都合による担当教員変更 (20)
				アクティブリーディング III					兼任		講師	若槻 なぎさ	平成22年4月	アクティブリーディング II	本人都合による担当教員変更 (22)
				アクティブリーディング IV					兼任		講師	岡田 佐由里	平成21年4月	アクティブリーディング III	本人都合による担当教員変更 (21)
				アクティブリーディング V					兼任		講師	鈴木 基伸	平成22年4月	アクティブリーディング IV	本人都合による担当教員変更 (22)
英語コミュニケーション III	兼任	講師	服部 美香	平成23年4月	アクティブリーディング V	本人都合による担当教員変更 (23)									
英語コミュニケーション IV						開講クラス数減に伴う担当科目減 (22)									
					兼担	准教授	小平 秀志	平成21年4月	教育心理学概論 (旧:教育心理学)	教職課程の設置にあたり、中教審より科目を追加するよう指示があったため (21)					
					兼担	准教授	早川 すみ江	平成21年4月	教育相談の基礎と方法	教職課程の設置にあたり、中教審より科目を追加するよう指示があったため (21)					
					兼担	准教授	堀 美和子	平成21年4月	発達心理学概論	教職課程の設置にあたり、中教審より科目を追加するよう指示があったため (21)					
					兼担	教授	近藤 直子	平成22年4月	発達心理学概論	担当教員の変更 (22)					

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	伊藤 僚	平成20年4月	健康・スポーツ演習	科目充実のため担当教員追加(20)
					兼任	助教	伊藤 僚	平成23年4月	健康・スポーツ演習	任用変更(23)
					兼任	講師	奥高 敦史	平成20年4月	健康・スポーツ (旧:健康・スポーツ演習)	科目充実のため担当教員追加(20) 教育課程整備に伴う科目名称変更(24)
					兼任	講師	小野 昌子	平成20年4月	健康・スポーツ (旧:健康・スポーツ演習)	科目充実のため担当教員追加(20) 教育課程整備に伴う科目名称変更(24)
					兼任	講師	肥田 満裕	平成20年4月	健康・スポーツ (旧:健康・スポーツ演習)	科目充実のため担当教員追加(20) 教育課程整備に伴う科目名称変更(24)
					兼任	講師	片山 信吾	平成21年4月	教育制度論	教職課程の設置にあたり、中教審より科目を追加するよう指示があったため(21)
					兼任	教授	石川 満	平成22年4月	福祉行財政と福祉計画	社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当教員追加(22)
					兼任	教授	小椋 喜一郎	平成22年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(22)
					兼任	准教授	原田 正樹	平成22年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(22)
					兼任	教授	平野 隆之	平成22年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(22)
					兼任	准教授	山田 壮志郎	平成22年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(22)
					兼任	准教授	伊藤 文人	平成22年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(22)
					兼任	准教授	吉田 直美	平成22年4月	社会福祉学 (旧:社会福祉原論) 社会福祉援助技術論Ⅰ (旧:社会福祉方法原論) 高齢者に対する支援と介護保険制度	社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当教員追加(22)
					兼任	助教	石本 馨	平成22年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(22)
					兼任	講師	井上 陽子	平成22年4月	道徳教育の指導法	本人都合による担当教員変更(22)
					兼任	講師	池谷 啓介	平成22年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(22)
					兼任	講師	木村 隆夫	平成22年4月	更生保護	社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当教員追加(22)
					兼任	教授	木村 隆夫	平成23年4月	更生保護	任用変更(23)
					兼任	講師	木村 昌樹	平成22年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(22)
					兼任	講師	久保原 信司	平成22年4月	ことばと文化Ⅰ(ポルトガル) ことばと文化Ⅱ(ポルトガル)	カリキュラム充実のための科目追加(22)
					兼任	講師	倉持 香苗	平成22年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	柴田 康正	平成22年4月	教育課程論	本人都合による担当教員変更(22)
					兼任	講師	全 泓奎	平成22年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(22)
					兼任	講師	平井 寛	平成22年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(22)
					兼任	講師	鷲野 林平	平成22年4月	権利擁護と成年後見	社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) 担当教員追加(22)
					兼担	教授	柿本 誠	平成23年4月	相談援助演習 I	カリキュラム充実のための担当教員追加(23)
					兼任 兼担	講師 教授	佐藤 皓一	平成23年4月	福祉経営論 I	社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21)
				平成23年4月				福祉経営論 II	社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21)	
										退職に伴う任用変更(24)
					兼担	教授	牧野 忠康	平成23年4月	保健医療サービス	社会福祉士新法対応に伴う科目追加(23)
								平成24年4月	こころとからだ	本人都合による担当教員変更(24)
					兼担	准教授	吉田 直美	平成23年4月	社会福祉援助技術論 II (旧:社会福祉方法各論 I)	社会福祉士新法対応に伴う科目追加(23)
				平成23年4月				社会福祉援助技術論 III (旧:社会福祉方法各論 II)	社会福祉士新法対応に伴う科目追加(23)	
				平成24年4月				相談援助実習指導 II (旧:社会福祉援助技術現場実習指導 II)	社会福祉士新法対応に伴う科目追加(21) カリキュラム充実のため専任教員配置(24) 担当:野崎泰志(教授)	
				平成24年4月				相談援助実習 (旧:社会福祉援助技術現場実習)	本人都合による担当教員変更(24)	
								平成24年4月	公的扶助論	本人都合による担当教員変更(24)
					兼任	講師	角谷 勝己	平成23年4月	就労支援サービス	社会福祉士新法対応に伴う科目追加(23)
					兼担	助教	小嵩 健一	平成23年4月	文章作成力演習	カリキュラム充実のための科目追加(23)
					兼任	講師	茂 大祐	平成23年4月	文章作成力演習	カリキュラム充実のための科目追加(23)
					兼任	講師	鈴木 敬子	平成23年4月	情報処理演習	クラス数増に伴う担当教員追加(23)
					兼任	講師	高村 秀史	平成23年4月	文章作成力演習	カリキュラム充実のための科目追加(23)
					兼任	講師	土井 佳彦	平成23年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(23)
					兼任	講師	松久保 博章	平成23年4月	福祉行財政と福祉計画	本人都合による担当教員変更(23)
					兼担	講師	戸田 智弘	平成24年4月	文章作成力演習	本人都合による担当教員変更(24)
					兼任	講師	浅野 健	平成24年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(24)
					兼任	講師	井原 祥子	平成24年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(24)
					兼任	講師	北川 幸一	平成24年4月	知多学フィールドスタディ	科目追加に伴う兼任教員配置(24)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	坂部 司	平成24年4月	障害者支援演習	科目追加に伴う兼任教員配置(24)
					兼任	講師	酒井 由香	平成24年4月	障害者コミュニケーション演習(手話)	科目追加に伴う兼任教員配置(24)
					兼任	講師	神野 悦夫	平成24年4月	知多学フィールドスタディ	科目追加に伴う兼任教員配置(24)
					兼任	講師	瀬戸 今日子	平成24年4月	障害者支援演習	科目追加に伴う兼任教員配置(24)
					兼任	講師	高村 秀史	平成24年4月	知多学フィールドスタディ	科目追加に伴う兼任教員配置(24)
					兼任	講師	朴 愈美	平成24年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(24)
					兼任	講師	星野 史充	平成24年4月	情報処理演習	開講クラス数増に伴う担当科目追加(24)
					兼任	講師	松波 光紀	平成24年4月	実践英語コミュニケーションⅡ	本人都合による担当教員変更(24)
					兼任	講師	吉岡 初浩	平成24年4月	現代福祉※	オムニバス授業への担当教員の追加(24)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**認可時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成24年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	6	0	0	12		7	4	0	0	11		教員の昇格のため(22)
(5)	(6)	( )	( )	( )	( )	[1]	[Δ2]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	余語トシヒロ	設置計画の完成をまって定年退職(24)
2			
3			

(注)・専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記退職は、もともと学部設置計画の完成年度が当該教員の退職年度であり、あらかじめ予定・計画されたものである。よって教育計画上もゼミ科目など年度をまたがる科目は始めから担当科目としておらず、担当していた講義科目については全て専任教員・兼任講師を配置することで対応した。(24)

(注)・上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。



## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調査時 (平24年2月)	健康科学部福祉工学科、国際福祉開発学部国際福祉開発学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	開設以降の学生募集状況は遞減傾向にあったが、開設3年目をむかえた平成22年度より、語学力・発信力の伸長を示すデータをはじめとする具体的な根拠を明示する等、本学部の教育力を積極的にアピールする広報活動を展開しており、平成22年度入学定員比0.52から平成23年度0.63、平成24年度0.61へと定員比6割強で推移している。	現在、平成25年度のカリキュラム改革を予定しており、さらに平成27年度に向けて、学園中期計画の枠組みで校地移転を含めたさらなる学部改革の検討に着手している。その中で、学募力向上に結び付くカリキュラム検討を行うとともに、新たなカリキュラムを体現する学部名称や入学定員のあり方についても併せて検討を行う。
設置計画履行状況 調査時 (平24年2月)	通信教育の本人確認に関して、規定や運用等が不十分であるため、確実な体制で本人確認を行うことができるように改善すること。(国際福祉開発学部国際福祉開発学科)	<p>本学通学課程で実施されている「多様なメディアを高度に利用する授業」は、オンデマンド授業とWeb試験がそれに該当する。</p> <p>これらの受講に関しては履修者個別に付されたユーザー名とパスワードによって本人確認を行っているが、少なくともオンデマンド授業の受講に関してはこれを超える個人認証を行う予定はない。なぜなら、通常の対面授業においても、学生証の提示以外にも、出欠票の提出、レポート提出等、科目担当教員の責任において、様々な方式で出席を確認する運用をとっており、これは実際に国内の大学でも行われている「本人確認」の方法である。むしろ、学生個々に与えられたユーザー名とパスワードの入力をもって本人確認を行う方式は、金融機関での取引等、広く社会で認められている方式であり、提出物の記名等で本人確認を行う方式より、個人の特定という点において、むしろ実効性の高い方式であると考えからである。</p> <p>他方で、「Web試験」については、もともと平成21年度の新型インフルエンザの流行の際に、「臨時休業の措置を行った大学等においては、当該期間中の学習に遅れが生じないような措置に配慮」(『各国公私立大学長等宛 新型インフルエンザに関する対応について(第4報)』14)することを目的として、大学の</p>	

<p>設置計画履行状況調査時 (平24年2月)</p>		<p>判断において、既存の教育インフラを用いて、罹患学生に対する大幅な出校停止措置や大学閉鎖等を想定して、流行が想定される期間に実施される授業の一時的なオンデマンド化（授業の動画収録）と併せて、追加的に導入したものである。</p> <p>通学課程での単位認定試験を、「多様なメディアを高度に利用する授業」の枠の中で時間や空間を越えて実施する場合、時間と場所を限定した対面試験での学生証提示等による本人確認に相当する個人認証を行うことは、最新の技術を用いたとしても原理的に難しい。今回の指摘を契機として、認証技術の進展等をにらみながら、より適切な本人確認のあり方に向けて検討を行う。</p>	
---------------------------------	--	--	--

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<国際福祉開発学部 国際福祉開発学科>

### (1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学教育センター教員会議(共通教育部門[外国語教育部会・スポーツ教育部会・基礎教養部会・情報教育部会]、教育開発部門[教育支援部会・学習支援部会])、学部委員会(学部FD活動検討委員会)</p> <p>※関係規程を添付いたします。(別紙2)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>平成23年度については定例で年12回の教授会・学部委員会を開催した。また、全学教育センター教員会議は年11回と各部会をそれぞれ開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>全学教育センター教員会議及び各部門部会で、全学的なFD活動をはじめとする教育力向上のための研究・研修事業などについて、検討及び審議を行った。学部委員会では、全学での活動を踏まえつつ、学生への学習オリエンテーションや履修相談の企画・実施、授業評価アンケート項目の検討・実施・評価(学部独自部分)、中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」を踏まえた学部の教育内容の点検及び学部独自のFD研修事業の計画策定を行った。</p> <p>② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容</p> <p>&lt;全学的なFD活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学FDフォーラム(きょうゆうサロン、ランチタイムFD)の開催</li> <li>・ 第1講目科目ガイダンスのオンデマンド化の推進(授業公開)</li> <li>・ 共通教育部門の各部会におけるFD活動</li> <li>・ 新任教員のための学習会の実施</li> <li>・ 日本福祉大学スタンダード(本学における学士力)に基づく教材開発と教育や研修での活用</li> </ul> <p>&lt;学部独自のFD活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育研究計画書の作成及び提出の義務化(教育の専門分野、研究課題、研究業績、諸活動の公開)</li> <li>・ 学習オリエンテーションや履修相談の企画・実施</li> <li>・ 授業評価アンケート項目の実施、評価分析、公開、評価項目の再検討</li> <li>・ 平成22年度の大学基準協会認証評価への対応と学部の教育内容の点検・分析</li> <li>・ 学部FD研修事業として以下のプログラムの策定と実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 海外研修での危機管理のあり方に係る外部団体(海外留学生安全対策協議会)の研修「第20回 海外派遣・研修における危機管理セミナー」への学部教員の参加</li> <li>② 学部の英語教育充実に向けた他大学調査(平成20年度)</li> <li>③ TESOLプログラムの研修受講(テンプル大:Distinguished Lecturer Series at Osaka Center)を通じた英語教授法の研究(平成21年度)</li> <li>④ “CALL”システムを活用した英語教材開発と教材活用の実践(平成21年度)</li> <li>⑤ 高校までの英語学習の振り返り教材として「学び直しの英語総合演習」を作成。特に英語教員を目指す2年生・3年生を対象に試行的に教材配布した。</li> <li>⑥ 平成24年度より新たに愛知県立御津高校との間で協定を締結した高大連携事業の一環として同校英語科教員と本学部英語教員、英語教員を目指す学部生との共同で新たな英語教授法の開発に取り組む予定である。</li> <li>⑦ 平成24年度よりWYMの実践を通じて参加校間の共同により、英語プレゼンテーションや国・文化を越えたファシリテーションに係る教材開発を行う予定である。</li> </ul> </li> </ul>
---

## b 実施方法

### <全学的なFD活動>

- ・全学FDフォーラムとして、「きょうゆうサロン」、「ランチタイムFD」として本学の教育に係る多様なテーマについて教員間実践交流会を開催している。また、本学が主催する地域に対する貢献事業についての現場見学会も実施している。
- ・印刷物で提供されるシラバスに加え、科目の第1講目のガイダンス部分のオンデマンド化を全学的に進め、web上で学生に提供している。
- ・共通教育部門の各部会において、授業の実践発表による情報交換などのFD活動を行っている。
- ・新任教員を対象に、本学教員の職務についてや、全学部の教員に求められる障害者学生への対応等に関する研修を行っている。
- ・本学の全学部学生に共通する学士力（日本福祉大学スタンダード）として「四つの力」（伝える力、見据える力、関わる力、共感する力）を基に教材開発を行い、学生のガイダンスやFD研修などで活用している。

### <学部独自のFD活動>

- ・教育研究計画書の作成及び授業評価アンケートは、webシステムを活用して実施している。
- ・学部FD研修事業の②③④については、全学のFD推進組織である「全学教育推進室」の学内公募型プロジェクトに申請を行い、予算措置等を含めて連携をとりながら進めている。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

### <全学的なFD活動>

- ①全学FDフォーラム（きょうゆうサロン、ランチタイムFD）の開催  
教育に係る多様なテーマについて教員間の実践交流を図る場として年2回の「きょうゆうサロン」と7月には本学が主催する地域に対する貢献事業についての見学会を実施した。また、新たな取組として年4回の「ランチタイムFD」を開催した。（参加者数には報告者も含む）
  - ◆きょうゆうサロン「ICTの活用と本学の教育について」（9月22日開催）  
（報告：佐藤慎一 国際福祉開発学部准教授・全学教育センター教育開発部門会長、矢崎裕美子 全学教育センター研究員、教育デザイン研究室、参加：教員15名・職員8名）
  - ◆きょうゆうサロン「大学教育の行方」（1月20日開催）  
（報告：中井俊樹 名古屋大学高等教育研究センター、参加：教員12名・職員9名）
  - ◆見学会「半田キャンパス訪問と伝統行事を通して学生・教職員との交流を図る」（7月7日開催）  
（参加：教員4名・職員7名）
  - ◆ランチタイムFD「スポーツ系サークル指導者から見る学生像」（6月23日開催）  
（報告：宮崎完二 本学I部サッカー部監督、参加：教員13名・職員9名）
  - ◆ランチタイムFD「本学学生の英語力」（10月19日開催）  
（報告：Gary Alan Kirkpatrick 本学学習指導講師、参加：教員19名・職員7名）
  - ◆ランチタイムFD「本学1年生の学生像」（11月22日開催）  
（報告：松尾敏之 本学非常勤講師、参加：教員15名・職員3名）
  - ◆ランチタイムFD「保健室から見た学生像の変化・障害学生の学生支援」（12月14日開催）  
（報告：安田幸子 保健室職員、三輪珠美 障害学生支援センター、参加：教員7名・職員6名）
- ②第1講目科目ガイダンスのオンデマンド化  
全学部の科目の内、専任教員担当科目を中心に274科目分のオンデマンドガイダンスをweb上で公開している。
- ③共通教育部門の各部会におけるFD活動の実施  
スポーツ教育部会においてFD研修会を2回開催した。[7/30, 1/22]
- ④新任教員のための学習会の実施  
平成23年度新任教員を対象として、本学で職務を遂行するにあたり必要な知識の習得を目的に、第1回学習会（新任教員オリエンテーション）を4月1日・2日に開催し、14名の新任教員が参加した。第2回は「精神的に不安定あるいは障害のある学生への対応の基本」をテーマに、6月23日に開催し11名が参加した。第3回は「大学の組織運営に関する知識を得る」をテーマに、12月1日に開催し6名が参加した。
- ⑤日本福祉大学スタンダード（本学における学士力）の独自教材開発と活用  
全学的な教学機関である全学教育開発機構・全学教育センターにおいて、独自の教材（基礎スタンダードガイドブック、上級スタンダードガイドブック、教員スタンダードガイドブック）を制作し、学生のガイダンスやFD研修などで活用した。

### <学部独自のFD活動>

- ・学部FD研修事業についての取組・参加状況は以下のとおり。

- ◆テーマ「第20回 海外派遣・研修における危機管理セミナー」（平成20年5月12日）  
影戸誠教授（学部長補佐）及び担当事務局が参加し、学部教授会へ報告。
- ◆テーマ「学部の英語教育充実に向けた他大学調査」（平成20年12月1日、5日）  
影戸誠教授（学部長補佐）及び事務局が、関西地域の英語教育に関して先進的取組を行っている学校（大学4校、高校1校）を調査の上、その内容及び本学において適用可能性のある事業について学部教授会へ報告。
- ◆テーマ「Distinguished Lecturer Series at Osaka Center」（平成21年6月20日、9月26日、11月7日）  
非常勤講師を含む本学部英語担当教員の参加を予定。

## d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成20年度に実施された「学部の英語教育充実に向けた他大学調査」の結果とその後の検討を踏まえて、平成21年度からネイティブスピーカーが常駐する英語交流スペースを試行的に設置した。当該スペースにおいては、学生が自発的に英語コミュニケーションに取り組むほか、本学部のそれぞれの英語授業の担当教員と連携しながら、効果的な英語プレゼンテーションや発音等、個別学生の問題関心や弱みに応じて、ネイティブによる補完的な授業支援を行っている。

今後ともFD研修活動の結果が、学部教育の充実に資するような検討を継続する予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートについては、ゼミ（基礎演習、総合演習、専門演習、卒業研究）を除く全ての科目を対象に前期後半（7月～9月）と後期後半（1月～2月）にweb上で実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果については科目担当者と学部教務委員にフィードバックした上で、web上で学生に公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（別紙3のとおり）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成25年3月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に認証評価機関（財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中である。

・前は平成22年度に財団法人大学基準協会の評価を受け、「適合」との判定を受けた（認定期間は平成23年4月1日から平成30年3月31日）。

（注）・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ) ・ ( 無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 2012年 7月 1日 )

# 日本福祉大学全学教育センター規程

(総則)

**第1条** 日本福祉大学全学教育センター（以下「全学教育センター」という）に関する事項は、この規程に定めるところによる。

(目的)

**第2条** 全学教育センターは、次の2つの部門に関わる事業を行う。

A. 共通教育部門

- ① 全学および学部間共通科目の研究・開発・運営
- ② 入学前教育、初年次教育、教養教育、語学教育、情報教育などの全学共通教育プログラムの研究・開発・運営

B. 教育開発部門

- ① 学生の基礎学力サポートのための全学プログラムの研究・開発
- ② 全学的なFDをはじめとする教育力向上のための研究・研修事業
- ③ 情報コミュニケーション技術を活用した授業・教材の研究・開発、および教育改革の推進
- ④ 教育・研究用情報環境の開発と利用支援
- ⑤ オンデマンドコンテンツの研究・開発

(組織)

**第3条** 全学教育センターは、全学教育開発機構のもとにおかれ、全学教育センターの運営のため、全学教育センター長（以下、センター長という）、全学教育センター教員会議（以下、教員会議）をおく。

- 2 全学教育センター教員会議の運営については別に定める
- 3 全学教育センターは、2つの部門事業の運営のため、それぞれに部門長をおく。
- 4 共通教育部門は、部門事業運営のため、外国語教育部会、スポーツ教育部会、基礎教養部会、情報教育部会をおく。また、教育開発部門には、教育支援部会、学習支援部会をおく。

(全学教育センター長)

**第4条** センター長は大学評議会の議を経て学長が任命する。任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 センター長は全学教育センターを代表し、業務を統括する。

(部門長および部会長)

**第5条** 部門長および部会長はセンター教員会議にて選任し、学長了解を得てセンター長が任命する。任期は2年とし、再任を妨げない。

(研究員)

**第6条** 全学教育センターには、必要に応じ、補助金等の外部資金を原資とした、事業推進のための研究員を置くことができる。

(規程の所管課室)

**第7条** 本規程の所管課は学事課とする。

(改正)

**第8条** この規程は大学評議会の議を経て改正する。

#### 附 則

- 1 この規程は、2010年4月1日より施行する。
- 2 この規程は、2011年4月1日より一部改正施行する。
- 3 この規程は、2012年4月1日より一部改正施行する。

## 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総合評価・所見

国際福祉開発学部は、「福祉を理解し、英語を駆使して、組織運営と地域貢献を担える人材」の養成を目標に平成20年4月に開設し、本年度は完成後の1年目にあたる。設置計画上の各項目に照らして、当初の設置の趣旨・目的の達成状況に関する総合評価及び所見は以下のとおりである。

## (総合評価)

下記のとおり、学生募集上の課題を除き、教育計画については設置計画どおりに履行されていると考える。

## 1. 教育課程上の達成状況

## 1) カリキュラム充実のための科目追加

従来、全学共通開講科目「新ふくしキャリア教育科目」として開講されていた「日本福祉大学の歴史」、「基礎キャリアワーク」(後継科目は「障害者支援演習」)、「知多学」、「知多学フィールドスタディ」、「福祉の仕事」(後継科目は「福祉の力」)の5科目について、当該科目群の廃止と併せて、学部の総合基礎科目の中に組み入れることで発展的に継承した。

また、学部独自の体験学習を拡充する観点から新たに国内外の開発現場や教育現場での学部独自のインターンシップとして「国際協働インターンシップⅠ・Ⅱ」を科目追加するとともに、教員免許法改正に伴い「教職実践演習」(開講年度は平成25年)を科目追加した。

## 2) 休講措置への対応状況

今年度までの配置科目については、入学者数の減少に伴うクラス数の減のため、4つの講義科目(「宗教と共同体」、「インドの経済社会」、「教育開発」、「ジェンダー論」)について隔年開講措置がとられ、今年度は「宗教と共同体」、「インドの経済社会」を休講措置とした。この点については、事前に学生に対して経年の開講計画を示して学習計画をたてるよう指導を行うことで、学生の履修機会を担保している。

また、学部の設置計画の完成をまって学外研究に入った専任教員(斎藤千宏教授)の担当科目の内、「国際福祉開発」について、後任確保が困難なため、今年度に限って休講措置とした。

## 3) 科目名称・単位数変更

実際の科目内容等を踏まえて、設置計画の完成を待って以下の科目について科目名称と単位数を変更した。(いずれの科目も授業時間数に変更はない)

変更後科目名【括弧内は単位数】	変更前科目名【括弧内は単位数】
健康・スポーツ(2)	健康・スポーツ演習(4)
言語と文化Ⅰ・Ⅱ(中国)【各1】	ことばと文化Ⅰ・Ⅱ(中国)【各2】
言語と文化Ⅰ・Ⅱ(韓国)【各1】	ことばと文化Ⅰ・Ⅱ(韓国)【各2】
言語と文化Ⅰ・Ⅱ(ポルトガル)【各1】	ことばと文化Ⅰ・Ⅱ(ポルトガル)【各2】

## 4) 科目廃止について

履修希望者がいないため休講措置となっていた「ことばと文化Ⅰ・Ⅱ(マレーシア)」については設置計画の完成を待って廃止した。

また、全学共通科目「新ふくしキャリア教育科目」を廃止した。

## 2. 教員組織上の達成状況

専任教員については設置計画どおり平成21年度をもって全教員が就任した。また、設置計画の完成を待って1名の専任教員(教授)が定年退職した。(平成20年度、平成22年度にそれぞれ1名の教授昇格あり)

教員の担当科目に係り以下の点で変更が生じた。

- 「国際フィールドワークⅠ・Ⅱ」については、毎年のフィールドの地域特性や参加学生の問題関心を踏まえて、担当する引率教員を追加している。
- 「基礎演習」(1年次配当)については入学者数減に伴うクラス数減(1クラス)に伴い、1名の専任教員の科目担当を外している。「総合演習」(2年次配当)、「専門演習」(3年次配当)、「卒業研究」(4年次配当)については、毎年度の学生の問題関心や研究志向を踏まえながら、適宜、担当教員の追加を行っている。
- 英語関連科目については、非常勤講師の担当部分について、本人辞退や入学者数減に伴うクラス数減(1年次1クラス・2年次2クラス、3年次2クラス)があるため、毎年度、非常勤講師間で担当授業の調整を行っている。



### 3. 教育方法、履修指導上の達成状況

各学生の成績状況の把握に加えて、ゼミ担当教員間での学生生活上の問題事項の申し送りや英語担当教員間での各学生の英語能力と伸長度について組織的に共有を図り、学生ごとの状況に対応した履修指導を展開している。

また、ゼミ科目、英語科目等のクラス制科目については20名以内のクラスサイズに留めており、英語能力や研究調査手法等の特定の基礎スキルの形成に資するきめ細かい少人数教育を実施している。

なお、本学部での1・2年次の大きな教育の柱であるリサーチ（国際フィールドワークⅠ）、ファシリテーション（国際交流ファシリテーション演習Ⅰ）、プレゼンテーション・コミュニケーション（英語科目）での実施概況は下記のとおりである。

#### 1) 国際フィールドワークⅠ・Ⅱ

平成23年度の実施状況は表1のとおり。入学時より全員履修科目として位置づけ10月より事前学習を開始し、現地プログラム参加、報告書作成まで一連の教育プロセスとして実施した。

【表1】平成23年度国際フィールドワークⅠ・Ⅱ実施状況

フィールド	実施校・機関	実施日程	参加学生数
インド・バンガロール市	セクレッド・ハートカレッジ	平成24年2月13日～2月28日	13
フィリピン・ケソン市(メトロマニラ)	フィリピン国立大学ディリマン校	平成24年2月13日～3月1日	11
マレーシア・ペナン	マレーシア科学大学	平成24年2月12日～2月27日	16
カンボジア・プノンペン市/シエムリアップ市	カンボジア工科大学 王立プノンペン大学 現地NGO	平成24年2月15日～2月29日	15

#### 2) 国際交流ファシリテーション演習Ⅰ

当該科目は、本学海外協定校との連携のもとで、国際プレゼンテーション大会「ワールドユースミーティング」(以下、WYM)の開催準備、当日運営、英語での発表及び振り返りを一連の教育プロセスとして実施している。

平成23年度については以下の内容で実施した。

日程：平成23年8月7日(日)-8月8日(月)

会場：日本福祉大学美浜キャンパス文化ホール

テーマ：「21世紀スキル～見えない所で繋がっている～」

“21<sup>st</sup> century skills - How can we make use of social connectivity”

参加人数：706名

国内参加校数：大学5校、高校12校

海外参加校等：フィリピン:大学2校

マレーシア:大学1校

インドネシア:高校1校

カンボジア:大学1校

台湾:大学1校、高校8校

中国:高校1校

#### 3) 英語科目

英語関連科目は入学時と、入学後に定期的実施される英語能力測定試験及び各種の英語資格試験の取得状況を踏まえて、全履修者を能力別にクラス分けして個別のレベルに対応した授業を実施している。1・2年次については3年次以降の専門教育体系に向けた準備期間として、適切な英語運用能力(英検準1級レベル)の獲得に向けて、1年次で週あたり5コマ、2年次で4コマ相当の英語授業を行い、「読む・聞く・書く・話す」それぞれのスキルを統合的に学ぶことができるよう時間割編成を行っている。

#### 4. 入学者数確保に関する達成状況

開設以降の本学部の学生募集状況は以下のとおりであり、開設年度及び開設翌年度とも、入学定員(80名)を充足する入学者数を確保できていない状況である。

	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実定員比
平成 20 年度入試	148	146	142	54	0.67
平成 21 年度入試	139	136	132	44	0.55
平成 22 年度入試	104	103	92	42	0.52
平成 23 年度入試	302	300	237	51	0.64
平成 24 年度入試	310	308	253	49	0.61

#### (所見)

上記のとおり、設置計画完成後も引き続き設置計画に沿って教育計画を編成して、課程上の設置計画は計画どおりであるが、開設以来、入学者数確保に関しての課題を抱えている。

語学力・発信力の伸長を示すデータ、就職実績をはじめとする具体的な根拠を明示する等、本学部の教育力を積極的にアピールする広報活動を展開しており、平成 22 年度入学定員比 0.52 から若干増加して、平成 23 年度 0.63、平成 24 年度 0.61 へと定員比 6 割強で推移している。

今後の学部改革として、平成 25 年度に向けて、体験学習の拡充を含む、より学部の学びを遡及しやすいカリキュラム改革を検討しており、さらに平成 27 年には校地移転を検討しており、この移転と併せて、入学定員設定や学部名称のあり方を含めた抜本的な学部改革を行う予定である。

以上